

第7章 コミュニケーション

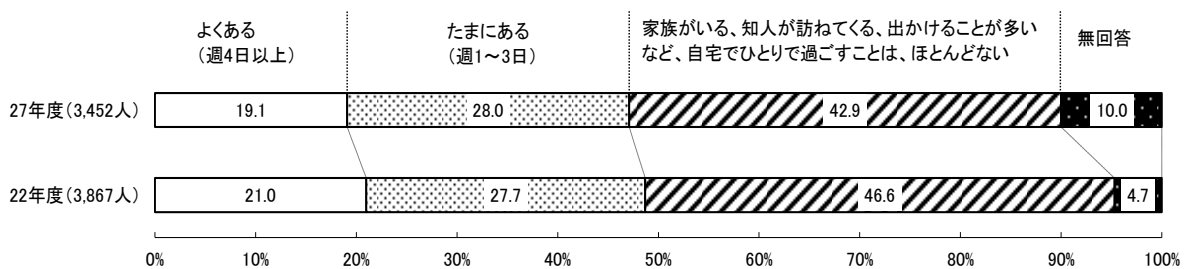
1 日中独居

家族と同居している人（3,452人）に、ご家族が日中外出している（仕事や学校など）ため不在になり、日中、自宅でひとりになることがどの程度あるか聞いた。

日中、自宅でひとりになることが「よくある（週4日以上）」割合は、2割

「家族がいる、知人が訪ねてくる、出かけることが多いなど、自宅でひとりで過ごすことは、ほとんどない」の割合が最も高く42.9%となっている。（図7-1）

図7-1 日中独居



注) 集計対象は、現在家族と同居している高齢者

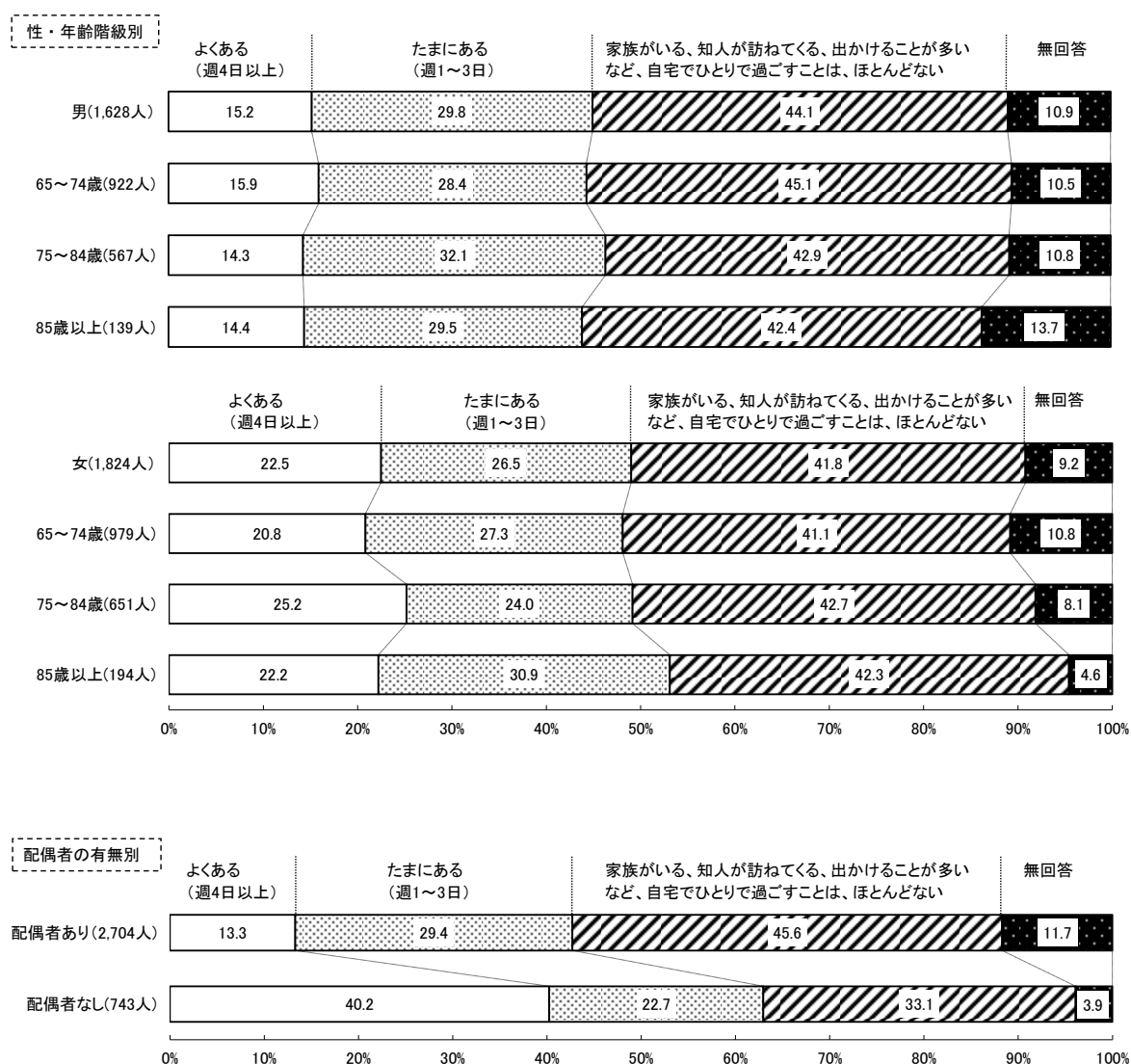
(1) 日中独居一性・年齢階級、配偶者の有無別

配偶者なしの人は、日中自宅でひとりになることが「よくある（週4日以上）」の割合が最も高く、4割

日中、自宅でひとりになることがどの程度あるかを性別でみると、男女とも「家族がいる、知人が訪ねてくる、出かけることが多いなど、自宅でひとりで過ごすことは、ほとんどない」の割合が最も高く、それぞれ44.1%、41.8%となっている。

配偶者の有無別にみると、配偶者ありの人は、「家族がいる、知人が訪ねてくる、出かけることが多いなど、自宅でひとりで過ごすことは、ほとんどない」の割合が最も高く45.6%となっている。一方、配偶者なしの人では、「よくある（週4日以上）」の割合が最も高く40.2%となっている。（図7-2）

図7-2 日中独居一性・年齢階級、配偶者の有無別



2 外出の頻度

対象者全員に、通常、どれくらいの頻度で外出するかを聞いた。

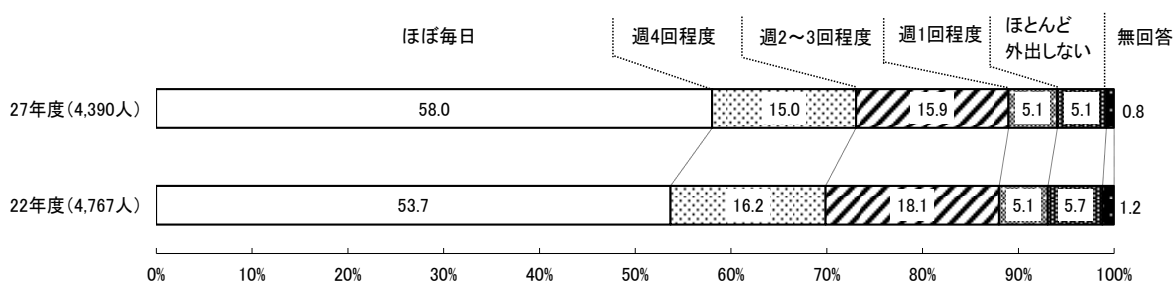
※1日に2回以上外出する場合は、1回と数えて回答。

「ほぼ毎日」の割合が最も高く、約6割

「ほぼ毎日」の割合が最も高く58.0%、次いで「週2～3回程度」15.9%、「週4回程度」15.0%となっている。

22年度調査と比べると、「ほぼ毎日」の割合は4.3ポイント増加し、「週2～3回程度」、「週4回程度」の割合はそれぞれ2.2ポイント、1.2ポイント減少している。(図7-3)

図7-3 外出の頻度－22年度調査との比較



(1) 外出の頻度－性・年齢階級別

85歳以上では、「ほとんど外出しない」人が2割

通常、どれくらいの頻度で外出するかを性別でみると、「ほぼ毎日」の割合は、男性62.4%、女性54.5%で、男性の方が高い割合となっている。

また、年齢階級別にみると、年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が高くなり、85歳以上では、21.1%で2割を超えている。(表7-1)

表7-1 外出の頻度－性・年齢階級別

		総数	ほぼ毎日	週4回程度	週2～3回程度	週1回程度	ほとんど外出しない	無回答
総数		100.0 (4,390)	58.0	15.0	15.9	5.1	5.1	0.8
性別	男	100.0 (1,949)	<u>62.4</u>	12.6	14.7	5.1	4.4	0.8
	女	100.0 (2,441)	<u>54.5</u>	16.9	16.9	5.2	5.6	0.9
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,258)	66.5	16.7	11.0	3.7	<u>1.5</u>	0.6
	70～74歳	100.0 (1,099)	64.7	14.0	13.9	4.4	<u>2.0</u>	1.0
	75～79歳	100.0 (932)	59.1	13.2	17.8	5.3	<u>4.1</u>	0.5
	80～84歳	100.0 (655)	46.7	16.6	22.0	6.0	<u>7.6</u>	1.1
	85歳以上	100.0 (446)	32.1	13.7	22.0	9.6	<u>21.1</u>	1.6

(2) 外出の頻度－健康意識、動作能力類型、近所付き合いの程度別

「ほぼ毎日」の割合は、健康状態を「よい」と考える人では、72.1%

通常、どれくらいの頻度で外出するかを健康意識別にみると、「ほぼ毎日」の割合は、健康状態を「よい」と考える人の72.1%となっている。一方、「ほとんど外出しない」の割合は、健康状態を「よくない」と考える人の15.2%となっている。

動作能力類型別でみると、「ほぼ毎日」と「週4回程度」を合わせた割合は、比較的重い障害のある高齢者の64.9%、軽い障害のある高齢者の73.2%、障害のない高齢者の81.3%で、それぞれ6割以上となっている。

近所付き合いの程度別でみると、付き合いがない人は、「ほとんど外出しない」の割合が17.0%であり、他の近所付き合いの程度の人と比較して高い割合になっている。(表7-2)

表 7-2 外出の頻度－健康意識、動作能力類型、近所付き合いの程度別

		総 数	ほ ぼ 毎 日	週 4 回 程 度	程 週 度 2 5 3 回	週 1 回 程 度	外 ほ と し ん な ど い	無 回 答
総数		100.0 (4,390)	58.0	15.0	15.9	5.1	5.1	0.8
健康意識別	よい	100.0 (1,156)	<u>72.1</u>	12.9	9.7	3.5	1.3	0.5
	まあよい	100.0 (841)	64.7	15.7	14.5	3.0	1.5	0.6
	ふつう	100.0 (1,378)	57.4	17.5	16.9	4.9	2.6	0.7
	あまりよくない	100.0 (593)	42.5	13.2	24.5	9.6	9.4	0.8
	よくない	100.0 (171)	28.1	17.5	25.7	11.7	<u>15.2</u>	1.8
動作能力類型別	寝たきりなど的高齢者	100.0 (362)	10.5	10.8	24.9	10.2	41.2	2.5
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (356)	47.2	17.7	20.8	7.9	5.1	1.4
	軽い障害のある高齢者	100.0 (907)	57.2	16.0	18.6	5.7	2.4	-
	障害のない高齢者	100.0 (2,665)	66.5	14.7	13.1	3.9	1.2	0.5
			<u>64.9</u>					
			<u>73.2</u>					
			<u>81.3</u>					
近所の程付き別	お互いに訪問し合う人がいる	100.0 (819)	63.2	13.4	15.4	4.2	3.1	0.7
	立ち話をする程度の人がある	100.0 (1,791)	61.3	16.5	15.1	4.0	2.6	0.5
	あいさつをする程度の人がある	100.0 (1,290)	55.3	14.7	16.5	7.1	5.4	1.0
	付き合いがない	100.0 (441)	44.4	12.5	19.5	6.1	<u>17.0</u>	0.5

注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

3 交流の頻度

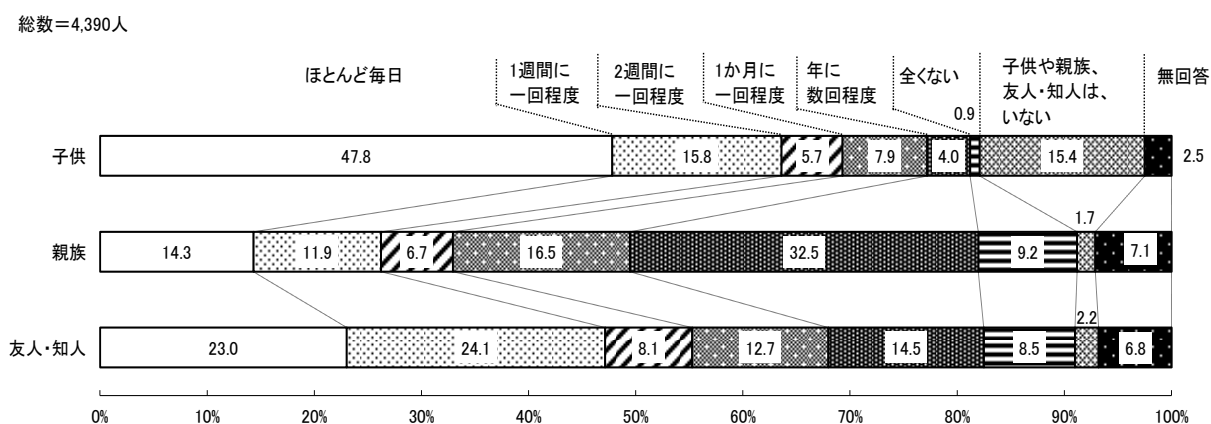
対象者全員に、同居・別居に関わらず、通常、どれくらいの頻度で、子供、兄弟などの親族、友人などと交流（話す、会う、電話、メールなど）するか聞いた。

子供との交流は「ほとんど毎日」の割合が最も高く、4割超

子供については「ほとんど毎日」の割合が47.8%、親族については「年に数回程度」が32.5%で、それぞれ最も高くなっている。

友人・知人については、「1週間に一回程度」が24.1%、次いで「ほとんど毎日」が23.0%となっている。（図7-4）

図7-4 交流の頻度



(1) 交流の頻度(子供)－性・年齢階級、動作能力類型別

子供と「ほとんど毎日」交流する割合は、男性よりも女性の方が高く、5割

通常、どれくらいの頻度で子供と交流するかを性別で見ると、「ほとんど毎日」の割合が、男性 43.0%、女性 51.5%で、女性の方が 8.5 ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、男女ともに、年齢階級が上がるにつれて、高くなっている（男性 39.9%～57.1%、女性 47.9%～61.5%）。一方で、65歳～74歳の男性は、「子供や親族、友人・知人は、いない」の割合が 21.0%で、2割を超えている。

動作能力類型別にみると、寝たきりなどの高齢者は、「ほとんど毎日」の割合が 56.9%で、最も高くなっている。（表 7-3）

表 7-3 交流の頻度(子供)－性・年齢階級、動作能力類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族、友人※	無回答
総数		100.0 (4,390)	47.8	15.8	5.7	7.9	4.0	0.9	15.4	2.5
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	<u>43.0</u>	14.8	5.9	9.7	6.4	1.4	15.8	3.0
	65～74歳	100.0 (1,115)	<u>39.9</u>	14.3	5.3	8.6	6.6	1.3	<u>21.0</u>	3.0
	75～84歳	100.0 (671)	<u>44.9</u>	15.5	6.9	12.2	7.3	1.5	9.5	2.2
	85歳以上	100.0 (163)	<u>57.1</u>	15.3	6.1	6.7	1.2	1.2	6.1	6.1
	女	100.0 (2,441)	<u>51.5</u>	16.7	5.5	6.5	2.0	0.5	15.1	2.2
	65～74歳	100.0 (1,242)	<u>47.9</u>	16.5	5.3	7.7	2.5	0.4	17.4	2.3
	75～84歳	100.0 (916)	<u>53.4</u>	18.1	6.6	5.7	1.6	0.3	12.4	1.9
85歳以上	100.0 (283)	<u>61.5</u>	12.7	3.2	3.9	1.4	1.1	13.4	2.8	
動作能力類型別	寝たきりなどの高齢者	100.0 (362)	<u>56.9</u>	11.3	2.8	5.2	3.6	1.7	14.6	3.9
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (356)	46.6	17.1	4.8	6.5	5.1	1.1	14.3	4.5
	軽い障害のある高齢者	100.0 (907)	48.5	14.7	6.0	8.9	4.1	1.0	14.7	2.2
	障害のない高齢者	100.0 (2,665)	46.8	16.7	6.3	8.1	3.8	0.7	15.9	1.7
22年度		100.0 (4,767)	52.9	16.3	5.7	7.4	3.2	1.1	12.3	1.2

注) 22年度調査では、※は「子供や親族等は、いない」としていた。

ア 交流の頻度(子供)－世帯類型、子供との距離(同居・別居含む)別

子供と「ほとんど毎日」交流する割合は、同居 8 割超、別居で 3 割

通常、どれくらいの頻度で、子供と交流するかを世帯類型別にみると、ひとりぐらしでは、「子供や親族、友人・知人は、いない」の割合が最も高く 39.1%となっている。高齢者夫婦のみでは、「ほとんど毎日」の割合が最も高く 29.3%、高齢者のみでない世帯の「夫婦のみ」では、「子供や親族、友人・知人は、いない」の割合が最も高く 24.5%となっている。

子供との距離別にみると、子供と同居している人は、「ほとんど毎日」の割合が 85.8%で 8 割を超えている。別居している人は、「ほとんど毎日」の割合が 33.1%で、子供との距離が遠くなるにつれて低くなっている (10.3%～76.3%)。(表 7-4)

表 7-4 交流の頻度(子供)－世帯類型、子供との距離(同居・別居含む)別

	総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	知子供は、親族、友人・	無回答	
総数	100.0 (4,390)	47.8	15.8	5.7	7.9	4.0	0.9	15.4	2.5	
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	25.9	21.9	7.9	10.6	6.0	1.3	24.3	2.1
	ひとりぐらし	100.0 (938)	19.3	17.2	6.1	7.2	5.4	2.9	<u>39.1</u>	2.8
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,453)	<u>29.3</u>	26.2	9.6	13.4	6.5	0.3	13.1	1.6
	その他	100.0 (129)	34.9	9.3	2.3	3.1	3.9	0.8	41.9	3.9
	高齢者のみでない世帯	100.0 (1,835)	78.0	7.3	2.7	4.1	1.4	0.3	3.3	2.9
	夫婦のみ	100.0 (155)	17.4	18.7	9.7	17.4	9.0	0.6	<u>24.5</u>	2.6
	高齢者と配偶者のいない子	100.0 (1,135)	84.7	6.3	2.1	2.7	0.8	0.1	-	3.3
	高齢者と配偶者のある子	100.0 (161)	84.5	5.0	2.5	3.7	-	0.6	-	3.7
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (69)	92.8	1.4	-	1.4	1.4	-	-	2.9
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (242)	90.5	7.0	0.8	0.8	-	-	-	0.8
その他	100.0 (73)	34.2	11.0	5.5	12.3	1.4	2.7	31.5	1.4	
子供との距離別	子がいる	100.0 (3,708)	56.6	18.7	6.7	9.4	4.7	1.0	-	2.8
	同居	100.0 (1,651)	<u>85.8</u>	6.1	1.8	2.5	0.7	0.1	-	3.0
	別居	100.0 (2,057)	<u>33.1</u>	28.9	10.7	14.9	8.0	1.8	-	2.7
	隣	100.0 (224)	<u>76.3</u>	14.7	4.9	1.8	0.4	-	-	1.8
	10分くらい	100.0 (418)	<u>47.1</u>	35.6	6.9	6.2	2.4	-	-	1.7
	30分くらい	100.0 (515)	<u>27.8</u>	34.8	13.6	15.9	5.0	0.2	-	2.7
	1時間くらい	100.0 (478)	<u>16.3</u>	31.4	14.9	21.5	12.6	1.5	-	1.9
	それ以上	100.0 (330)	<u>10.3</u>	23.3	10.3	26.1	18.8	8.2	-	3.0
	子はいない	100.0 (676)	-	-	-	-	-	-	100.0	-

(2) 交流の頻度(親族)－性・年齢階級、世帯類型別

男女ともに、いずれの年齢階級においても、親族との交流は「年に数回程度」の割合が最も高い

通常、どれくらいの頻度で、兄弟などの親族と交流するかを性・年齢階級別にみると、男女ともに、いずれの年齢階級においても、「年に数回程度」の割合が最も高くなっている(26.1%～37.7%)。

世帯類型別にみると、高齢者のみの世帯、高齢者のみでない世帯ともに、「年に数回程度」の割合が、それぞれ 32.6%、32.8%で最も高くなっている。(表 7-5)

表 7-5 交流の頻度(親族)－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族、友人※	無回答
総数		100.0 (4,390)	14.3	11.9	6.7	16.5	32.5	9.2	1.7	7.1
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	14.8	9.2	5.1	14.9	36.5	10.6	1.8	7.0
	65～74歳	100.0 (1,115)	16.9	9.2	4.4	15.8	<u>36.3</u>	9.3	1.6	6.5
	75～84歳	100.0 (671)	11.5	9.8	6.4	14.5	<u>37.7</u>	11.0	2.2	6.9
	85歳以上	100.0 (163)	14.1	6.7	4.9	11.0	<u>32.5</u>	17.8	1.8	11.0
	女	100.0 (2,441)	13.9	14.1	8.0	17.8	29.4	8.0	1.6	7.2
	65～74歳	100.0 (1,242)	15.9	14.7	8.6	18.6	<u>27.9</u>	6.4	1.1	6.6
	75～84歳	100.0 (916)	11.2	14.4	7.5	17.1	<u>32.3</u>	8.2	2.1	7.1
	85歳以上	100.0 (283)	13.8	9.9	7.1	16.3	<u>26.1</u>	14.5	2.1	10.2
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	11.9	12.1	6.2	16.3	<u>32.6</u>	11.2	2.5	7.1
	ひとり暮らし	100.0 (938)	9.1	13.3	6.4	15.5	30.3	12.7	4.3	8.5
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,453)	10.7	12.0	6.2	17.6	35.0	10.6	1.6	6.2
	その他	100.0 (129)	45.7	4.7	4.7	7.8	22.5	7.0	-	7.8
	高齢者のみでない世帯	100.0 (1,835)	17.5	11.6	7.6	16.7	<u>32.8</u>	6.5	0.7	6.8
	夫婦のみ	100.0 (155)	12.9	10.3	6.5	17.4	41.3	5.8	0.6	5.2
	高齢者と配偶者のいない子	100.0 (1,135)	17.2	11.5	7.9	17.4	32.7	6.6	0.9	5.8
	高齢者と配偶者のある子	100.0 (161)	11.8	11.2	8.1	15.5	30.4	8.7	0.6	13.7
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (69)	14.5	13.0	8.7	15.9	31.9	7.2	-	8.7
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (242)	21.5	14.0	6.6	16.1	29.8	5.4	-	6.6
その他	100.0 (73)	35.6	5.5	5.5	9.6	31.5	4.1	-	8.2	
22年度	100.0 (4,767)	16.6	12.8	7.9	18.0	31.9	7.5	1.7	3.7	

注) 22年度調査では、※は「子供や親族等は、いない」としていた。

(3) 交流の頻度(友人・知人)－性・年齢階級、世帯類型別

85歳以上は、友人・知人との交流が「全くない」人が、男女ともに約2割

通常、どれくらいの頻度で、友人・知人と交流するかを性別でみると、男性は、「ほとんど毎日」の割合が最も高く21.7%、次いで「1週間に一回程度」の割合が20.3%となっている。女性は、「1週間に一回程度」の割合が最も高く27.2%、次いで「ほとんど毎日」の割合が24.0%となっている。

年齢階級別にみると、男女ともに、85歳以上では、「全くない」の割合が、それぞれ23.3%、19.4%で、他の年齢階級に比べて高い割合になっている。(表7-6)

表7-6 交流の頻度(友人・知人)－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	ほとんど毎日	1週間に一回程度	2週間に一回程度	1か月に一回程度	年に数回程度	全くない	子供や親族、友人※	無回答
総数		100.0 (4,390)	23.0	24.1	8.1	12.7	14.5	8.5	2.2	6.8
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	<u>21.7</u>	<u>20.3</u>	6.7	14.4	18.1	9.9	2.5	6.5
	65～74歳	100.0 (1,115)	23.4	21.6	6.6	15.4	17.8	6.4	2.6	6.2
	75～84歳	100.0 (671)	21.0	19.4	7.5	13.7	18.8	12.4	1.6	5.7
	85歳以上	100.0 (163)	12.9	14.7	4.3	10.4	17.2	<u>23.3</u>	4.9	12.3
	女	100.0 (2,441)	<u>24.0</u>	<u>27.2</u>	9.3	11.3	11.7	7.4	1.9	7.1
	65～74歳	100.0 (1,242)	26.1	28.3	9.6	12.5	11.4	4.5	1.0	6.8
	75～84歳	100.0 (916)	24.3	27.8	9.9	10.6	10.7	7.6	2.1	6.9
	85歳以上	100.0 (283)	14.1	20.5	5.7	8.8	16.6	<u>19.4</u>	5.7	9.2
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	23.4	24.4	8.0	12.2	14.1	8.1	2.9	6.9
	ひとりぐらし	100.0 (938)	25.6	24.7	7.4	9.9	11.1	9.5	3.7	8.1
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,453)	22.0	24.6	8.5	14.0	15.8	6.9	2.3	6.1
	その他	100.0 (129)	23.3	19.4	7.0	9.3	17.8	12.4	3.9	7.0
	高齢者のみでない世帯	100.0 (1,835)	22.4	24.1	8.2	13.2	15.2	9.2	1.2	6.5
22年度	100.0 (4,767)	25.5	25.8	9.5	11.7	14.5	8.8	0.6	3.6	

注) 22年度調査では、※は「子供や親族等は、いない」としていた。

ア 交流の頻度(友人・知人)－外出の頻度、近所付き合いの程度、地域とのつながり別

近所付き合いがない人の約3割は、友人・知人との交流も「全くない」

通常、どれくらいの頻度で、友人・知人と交流するかを外出の頻度別にみると、ほぼ毎日外出する人は「ほとんど毎日」の割合が最も高く 31.3%となっている。一方、ほとんど外出しない人は、「全くない」の割合が最も高く 31.8%となっている。

近所付き合いの程度別にみると、お互いに訪問し合う人がいる人は、「ほとんど毎日」の割合が最も高く 41.9%となっている。一方、付き合いがない人は、「全くない」の割合が最も高く 28.1%となっている。

地域とのつながり別にみると、強くなっている、以前と変わらず強いと感じている人は、「ほとんど毎日」の割合が、それぞれ 40.7%、39.0%で約4割となっている。(表 7-7)

表 7-7 交流の頻度(友人・知人)－外出の頻度、近所付き合いの程度、地域とのつながり別

		総 数	ほ と ん ど 毎 日	1 週 間 に 一 回 程 度	2 週 間 に 一 回 程 度	1 か 月 に 一 回 程 度	年 に 数 回 程 度	全 く な い	知 子 人 は 、 親 族 、 友 人 ・ い ない	無 回 答
総数		100.0 (4,390)	23.0	24.1	8.1	12.7	14.5	8.5	2.2	6.8
外 出 の 頻 度 別	ほぼ毎日	100.0 (2,547)	<u>31.3</u>	23.9	7.5	11.9	12.6	5.2	1.6	6.1
	週4回程度	100.0 (657)	18.7	28.8	10.4	12.8	14.9	5.8	2.3	6.4
	週2～3回程度	100.0 (700)	8.3	26.9	10.7	15.6	18.0	13.0	2.3	5.3
	週1回程度	100.0 (226)	10.2	19.0	7.1	18.6	19.0	17.3	1.8	7.1
	ほとんど外出しない	100.0 (223)	4.5	12.1	2.7	8.1	22.0	<u>31.8</u>	8.5	10.3
近 所 付 き 合 い の 程 度 別	お互いに訪問し合う人がいる	100.0 (819)	<u>41.9</u>	28.9	8.3	9.8	4.6	1.5	0.4	4.6
	立ち話をする程度の人がある	100.0 (1,791)	22.0	27.4	10.2	13.5	15.2	4.3	1.2	6.3
	あいさつをする程度の人がある	100.0 (1,290)	15.7	20.8	6.8	15.0	19.7	11.9	3.0	7.1
	付き合いがない	100.0 (441)	13.6	13.4	3.6	9.1	15.6	<u>28.1</u>	6.8	9.8
地 域 と の つ な が り 別	少し弱くなっている	100.0 (798)	21.2	28.1	10.0	13.4	12.9	6.0	1.6	6.8
	弱くなっている	100.0 (684)	17.1	23.1	10.1	12.4	18.0	10.5	1.9	6.9
	少し強くなっている	100.0 (246)	30.5	31.3	8.5	12.2	9.8	1.2	1.2	5.3
	強くなっている	100.0 (108)	<u>40.7</u>	24.1	8.3	13.0	10.2	1.9	-	1.9
	以前と変わらず弱い	100.0 (1,332)	18.5	21.5	6.6	15.1	19.1	10.1	2.9	6.1
	以前と変わらず強い	100.0 (675)	<u>39.0</u>	26.5	8.3	10.1	8.6	2.8	0.6	4.1
	その他	100.0 (155)	20.0	19.4	7.7	10.3	12.9	14.8	4.5	10.3
変わらない	100.0 (132)	28.0	35.6	6.1	9.8	7.6	4.5	3.8	4.5	

4 緊急時の連絡先

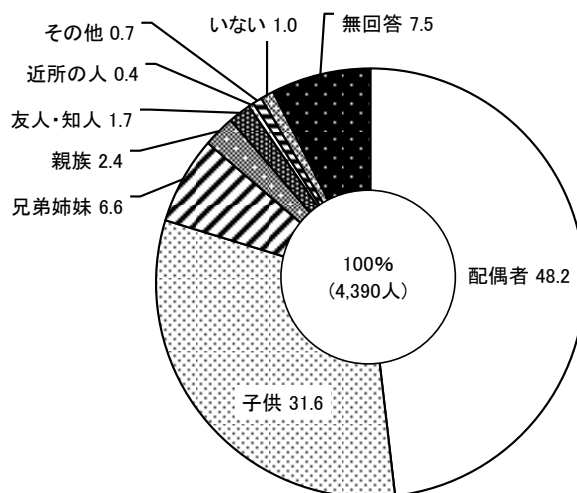
対象者全員に、急病、災害などの緊急時にまず連絡をする、または、連絡したいのは誰かを聞いた。

「配偶者」の割合が最も高く、約5割

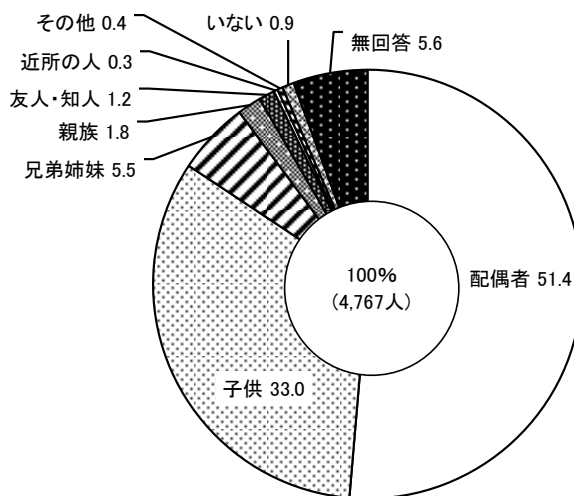
「配偶者」の割合が最も高く48.2%、次いで「子供」が31.6%となっている。

22年度調査と比べると、「配偶者」が3.2ポイント、「子供」が1.4ポイント、それぞれ減少している。(図7-5)

図7-5 緊急時の連絡先



22年度



(1) 緊急時の連絡先一性・年齢階級、世帯類型別

男性は「配偶者」の割合が最も高く6割、女性は「子供」の割合が最も高く4割

緊急時に連絡をするのは誰かを性・年齢階級別にみると、男性は、「配偶者」の割合が最も高く61.5%、次いで「子供」17.3%となっている。一方、女性は、「子供」の割合が最も高く43.1%、次いで「配偶者」37.5%となっている。男女とも、年齢階級が上がるにつれて、配偶者の割合が低くなっている(男性36.8%~66.8%、女性8.5%~51.2%)。

世帯類型別にみると、ひとりぐらしでは、「子供」の割合が最も高く47.4%、次いで「兄弟姉妹」22.2%となっている。また、連絡をする相手が「いない」割合が最も高いのは、ひとりぐらしで4.3%となっている。(表7-8)

表7-8 緊急時の連絡先一性・年齢階級、世帯類型別

	総数	配偶者			子供				兄弟姉妹			親族			友人・知人	近所の人	その他	いない	無回答				
		同居	別居	無回答	同居	別居	無回答	同居	別居	無回答	同居	別居	無回答										
総数	100.0 (4,390)	48.2	47.5	0.5	0.2	31.6	15.0	16.3	0.4	6.6	0.8	5.6	0.1	2.4	0.4	1.8	0.2	1.7	0.4	0.7	1.0	7.5	
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	61.5	60.3	0.9	0.3	17.3	8.0	9.1	0.2	6.5	0.8	5.6	0.1	2.0	0.3	1.6	0.2	1.8	0.4	0.8	1.4	8.4
	65~74歳	100.0 (1,115)	66.8	65.4	1.2	0.3	10.8	4.9	5.7	0.1	8.5	1.3	7.2	0.1	2.3	0.4	1.8	0.1	2.4	0.2	0.5	2.0	6.5
	75~84歳	100.0 (671)	58.7	57.7	0.7	0.3	24.4	11.0	13.0	0.4	4.2	0.1	3.9	0.1	1.3	-	1.2	0.1	1.0	0.4	0.7	0.7	8.3
	85歳以上	100.0 (163)	36.8	36.8	-	-	32.5	16.0	16.6	-	1.8	-	1.8	-	2.5	-	1.8	0.6	1.2	1.2	2.5	-	21.5
	女	100.0 (2,441)	37.5	37.2	0.1	0.2	43.1	20.6	22.0	0.5	6.6	0.9	5.7	0.1	2.7	0.5	2.0	0.2	1.5	0.5	0.7	0.7	6.8
	65~74歳	100.0 (1,242)	51.2	50.9	0.2	0.1	31.6	14.3	17.0	0.3	8.9	1.1	7.7	0.1	2.2	0.3	1.6	0.2	1.4	0.6	0.5	0.2	3.5
	75~84歳	100.0 (916)	27.8	27.5	-	0.3	54.9	26.0	28.2	0.8	4.6	0.7	3.8	0.1	2.8	0.2	2.5	0.1	1.4	0.4	1.1	1.3	5.6
	85歳以上	100.0 (283)	8.5	8.5	-	-	55.1	31.1	23.7	0.4	3.2	0.7	2.5	-	4.6	2.1	2.5	-	2.1	0.4	0.4	0.7	25.1
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	47.1	46.3	0.6	0.2	26.8	0.7	25.9	0.3	10.6	1.2	9.2	0.2	3.5	0.2	3.1	0.2	2.7	0.6	1.2	1.7	5.9
	ひとりぐらし	100.0 (938)	2.0	0.1	1.5	0.4	47.4	0.3	46.7	0.4	22.2	-	21.9	0.3	8.0	-	7.7	0.3	6.8	1.6	3.0	4.3	4.7
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,453)	78.1	78.0	-	0.1	14.2	-	14.0	0.1	0.8	-	0.8	-	0.5	-	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	5.9
	その他	100.0 (129)	24.8	24.8	-	-	19.4	10.9	7.8	0.8	35.7	22.5	12.4	0.8	3.9	3.9	-	-	1.6	-	0.8	-	14.0
	高齢者のみでない世帯	100.0 (1,835)	49.0	48.4	0.4	0.2	38.7	34.9	3.4	0.5	1.1	0.4	0.7	-	1.0	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	9.6
	夫婦のみ	100.0 (155)	91.6	91.6	-	-	2.6	-	2.6	-	1.9	-	1.9	-	-	-	-	-	0.6	-	-	0.6	2.6
	高齢者と配偶者のいない子	100.0 (1,135)	52.7	52.0	0.5	0.2	36.8	33.2	3.1	0.5	0.8	-	0.8	-	0.4	-	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	-	8.9
	高齢者と配偶者のある子	100.0 (161)	24.8	24.2	-	0.6	61.5	57.8	2.5	1.2	0.6	-	0.6	-	-	-	-	-	0.6	0.6	-	-	11.8
	高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (69)	33.3	33.3	-	-	50.7	47.8	1.4	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.9
	高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (242)	28.9	28.9	-	-	56.6	56.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.5
	その他	100.0 (73)	35.6	34.2	1.4	-	24.7	-	24.7	-	11.0	11.0	-	-	17.8	16.4	-	1.4	-	1.4	1.4	-	8.2

(2) 緊急時の連絡先—子供の有無（同居・別居含む）別

子供がいて同居していない人は「配偶者」の割合が最も高く、5割超

緊急時に連絡をするのは誰かを子供の有無（同居・別居含む）別にみると、子供がいる人のうち、同居している人は、「配偶者」44.9%、「子供」42.8%で、「配偶者」の方が2.1ポイント高くなっている。

子供がいて同居していない人は、「配偶者」56.5%、「子供」33.2%で、「配偶者」の割合の方が23.3ポイント高くなっている。

子供がいない人は、「兄弟姉妹」の割合が最も高く35.2%となっている。また、「親族」12.6%、「友人・知人」7.4%で、それぞれ総数の割合（2.4%、1.7%）より高くなっている。（表7-9）

表7-9 緊急時の連絡先—子供の有無（同居・別居含む）別

		総数	配偶者	子供	兄弟姉妹	親族	友人・知人	近所の人	その他	いない	無回答
総数		100.0 (4,390)	48.2	31.6	6.6	<u>2.4</u>	<u>1.7</u>	0.4	0.7	1.0	7.5
子供の有無別	子供がいる	100.0 (3,708)	51.3	37.4	1.3	0.5	0.6	0.3	0.4	0.1	8.0
	同居	100.0 (1,651)	<u>44.9</u>	<u>42.8</u>	0.6	0.3	0.2	0.1	0.1	-	11.1
	別居(同居の子はいない)	100.0 (2,057)	<u>56.5</u>	<u>33.2</u>	1.9	0.7	0.9	0.4	0.6	0.2	5.4
	子供はいない	100.0 (676)	31.1	-	<u>35.2</u>	<u>12.6</u>	<u>7.4</u>	1.2	2.7	5.6	4.3

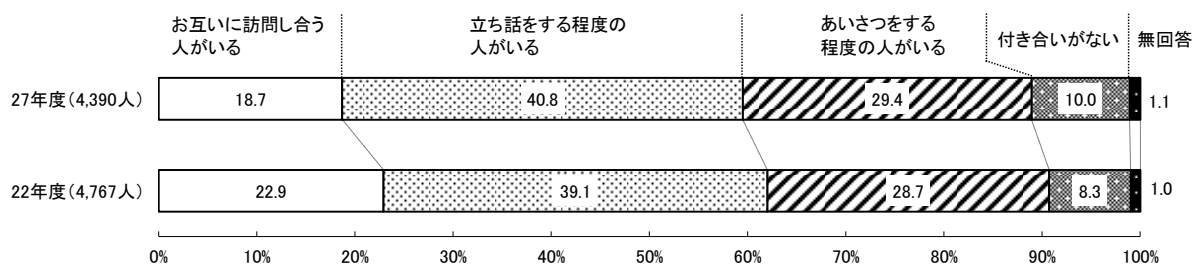
5 近所付き合いの程度

「立ち話をする程度の人がいる」の割合が最も高く、4割

対象者全員に、近所付き合いの程度を聞いたところ、「立ち話をする程度の人がいる」の割合が最も高く40.8%、次いで「あいさつをする程度の人がいる」が29.4%となっている。

22年度調査と比較して、「お互いに訪問し合う人がある」の割合は、4.2ポイント減少している。(図7-6)

図7-6 近所付き合いの程度



(1) 近所付き合いの程度－性・年齢階級、地域、世帯構成（世代）別

単身世帯（ひとりぐらし）では、「付き合いがない」の割合が16.6%で、他の世帯構成に比べて高い

近所付き合いの程度を性別でみると、「お互いに訪問し合う人がある」の割合は、男性12.1%、女性は23.9%で、女性の方が11.8ポイント高くなっている。

地域別にみると、いずれの地域も「立ち話をする程度の人がある」の割合が最も高くなっている（36.9%～46.1%）。

世帯構成（世代）別にみると、いずれの世帯構成でも「立ち話をする程度の人がある」の割合が最も高くなっている（34.3%～44.7%）。単身世帯（ひとりぐらし）では、「付き合いがない」の割合が16.6%で、他の世帯構成に比べて高くなっている。（表7-10）

表7-10 近所付き合いの程度－性・年齢階級、地域、世帯構成（世代）別

		総数	人 が互 いに 訪 問 し 合 う	人 立 ち 話 を す る 程 度 の	の あ い さ つ を す る 程 度	付 き 合 い が な い	無 回 答
総数		100.0 (4,390)	18.7	40.8	29.4	10.0	1.1
性別	男	100.0 (1,949)	12.1	37.8	37.6	11.6	0.9
	女	100.0 (2,441)	23.9	43.2	22.8	8.8	1.3
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,258)	14.5	43.3	32.0	9.5	0.6
	70～74歳	100.0 (1,099)	19.8	39.6	30.5	9.3	0.8
	75～79歳	100.0 (932)	22.6	41.8	26.1	7.9	1.5
	80～84歳	100.0 (655)	19.4	42.9	26.9	9.8	1.1
	85歳以上	100.0 (446)	18.2	31.4	29.8	18.2	2.5
地域別	区部 計	100.0 (2,860)	18.6	39.7	29.6	11.0	1.0
	区中央部	100.0 (249)	18.1	36.9	26.5	15.3	3.2
	区南部	100.0 (334)	16.5	42.2	33.5	7.5	0.3
	区西南部	100.0 (418)	21.1	39.7	28.7	9.3	1.2
	区西部	100.0 (416)	19.7	38.5	29.8	12.0	-
	区西北部	100.0 (630)	16.5	41.0	29.5	12.7	0.3
	区東北部	100.0 (421)	22.1	38.7	28.3	9.5	1.4
	区東部	100.0 (392)	16.8	39.8	30.4	11.2	1.8
	市・町・村部 計	100.0 (1,530)	18.7	42.8	29.0	8.2	1.3
	西多摩	100.0 (152)	23.7	45.4	24.3	5.3	1.3
	南多摩	100.0 (491)	15.7	43.0	27.3	12.4	1.6
	北多摩西部	100.0 (268)	22.8	42.9	31.0	2.6	0.7
	北多摩南部	100.0 (311)	19.6	37.9	31.2	10.3	1.0
北多摩北部	100.0 (308)	16.6	46.1	30.2	5.5	1.6	
（世帯構成）別	単身世帯（ひとりぐらし）	100.0 (938)	21.7	34.3	25.9	16.6	1.4
	一世代（夫婦のみ）	100.0 (1,630)	18.1	44.7	29.4	7.1	0.7
	二世代	100.0 (1,376)	17.7	41.2	31.5	8.5	1.1
	三世代	100.0 (330)	18.2	40.6	27.3	12.1	1.8

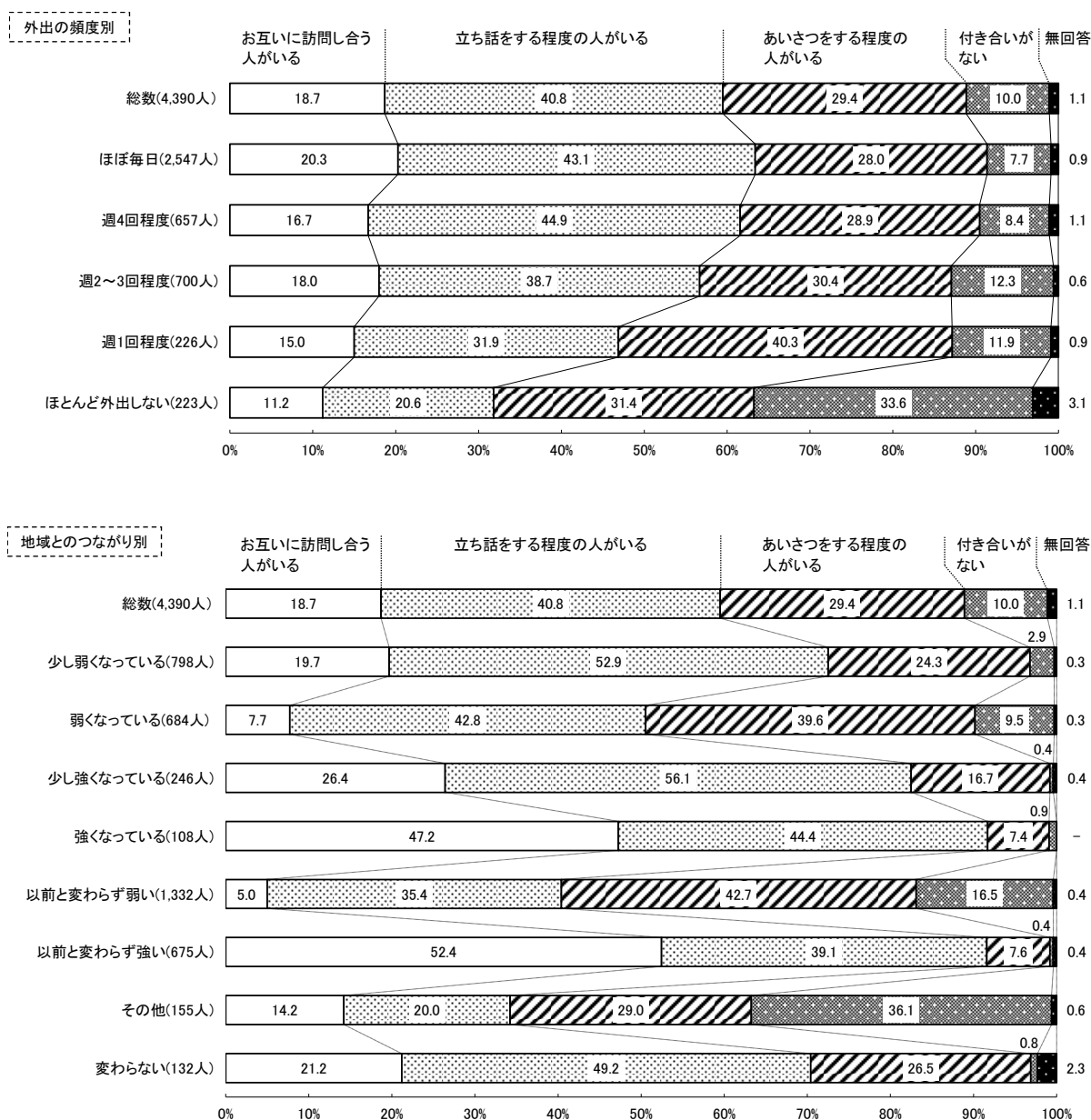
(2) 近所付き合いの程度－外出の頻度、地域とのつながり別

近所との「付き合いがない」人は、ほとんど外出しない人では3割、週1回程度外出する人では1割

近所付き合いの程度を外出の頻度別にみると、「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は、ほぼ毎日外出する人が20.3%で、2割となっている。一方、「付き合いがない」の割合は、ほとんど外出しない人が33.6%で、週1回程度外出する人（11.9%）よりも21.7ポイント高くなっている。

地域とのつながり別にみると、強くなっていると感じている人と、以前と変わらず強いと感じている人は、「お互いに訪問し合う人がいる」の割合が47.2%、52.4%と4割を超えている。（図7-7）

図7-7 近所付き合いの程度－外出の頻度、地域とのつながり別



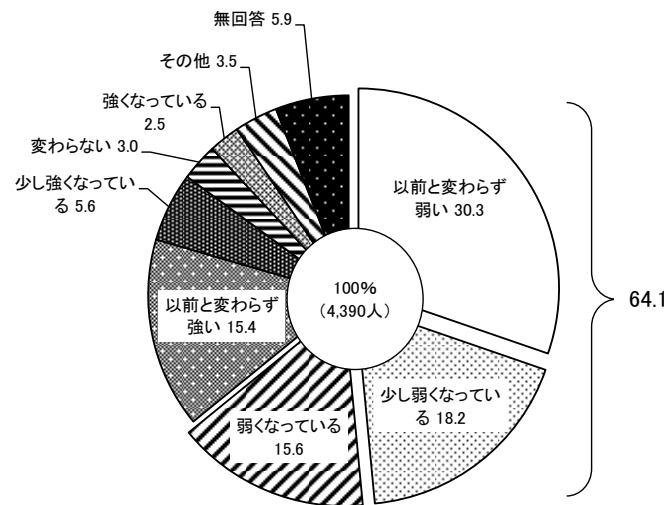
6 地域とのつながり

対象者全員に、地域の方々とのつながり（近所付き合い、交流など）について、以前と比べてどのように感じているか聞いた。

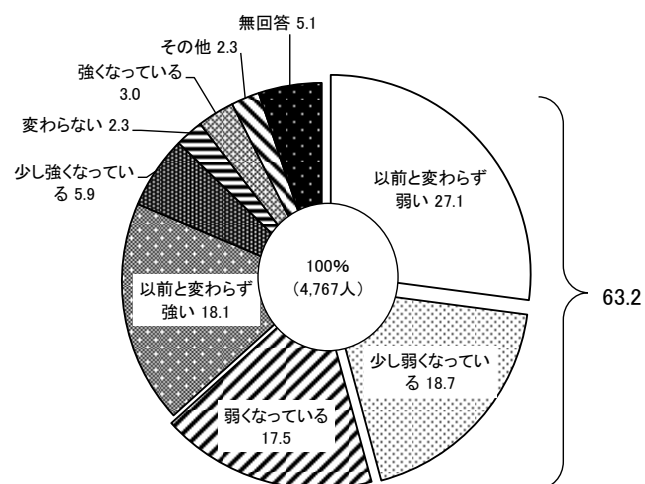
「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く、3割

「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く30.3%、次いで「少し弱くなっている」が18.2%、「弱くなっている」が15.6%と続き、これらを合わせた割合は64.1%となっている。（図7-8）

図7-8 地域とのつながり



22年度



注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

(1) 地域とのつながり一性・年齢階級、地域別

男女ともに「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く、それぞれ 35.8%、26.0%

地域とのつながりを性別で見ると、男女ともに、「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く（35.8%、26.0%）、次いで「少し弱くなっている」（16.0%、20.0%）となっている。

地域別にみると、区中央部では、「弱くなっている」の割合が 23.3%で、総数の割合（15.6%）に比べて 7.7 ポイント高くなっているのに対し、「以前と変わらず強い」の割合は 10.0%で、総数（15.4%）に比べて 5.4 ポイント低くなっている。一方、北多摩北部では、「弱くなっている」の割合が 9.7%で、総数の割合（15.6%）に比べて 5.9 ポイント低くなっているのに対し、「以前と変わらず強い」の割合は 19.8%で、総数の割合（15.4%）に比べて 4.4 ポイント高くなっている。（表 7-11）

表 7-11 地域とのつながり一性・年齢階級、地域別

		総数	少し弱くなっている	弱くなっている	少し強くなっている	強くなっている	以前と変わらず弱い	以前と変わらず強い	その他	変わらない	無回答
総数		100.0 (4,390)	18.2	<u>15.6</u>	5.6	2.5	30.3	<u>15.4</u>	3.5	3.0	5.9
性別	男	100.0 (1,949)	<u>16.0</u>	15.0	5.4	2.9	<u>35.8</u>	13.1	3.2	2.6	6.1
	女	100.0 (2,441)	<u>20.0</u>	16.1	5.8	2.1	<u>26.0</u>	17.2	3.8	3.4	5.8
年齢階級別	65～74歳	100.0 (2,357)	18.8	14.8	6.7	2.6	32.8	14.1	3.7	3.2	3.2
	75～84歳	100.0 (1,587)	18.5	16.4	5.0	2.8	28.1	17.4	3.5	2.6	5.5
	85歳以上	100.0 (446)	13.5	16.8	1.6	0.2	25.6	14.8	2.7	3.1	21.7
地域別	区部 計	100.0 (2,860)	18.0	17.1	5.5	2.3	29.8	14.4	3.5	3.6	5.8
	区中央部	100.0 (249)	15.7	<u>23.3</u>	6.8	1.2	29.3	<u>10.0</u>	4.4	2.0	7.2
	区南部	100.0 (334)	18.6	19.2	4.8	1.8	36.2	10.2	1.8	2.4	5.1
	区西南部	100.0 (418)	18.2	19.6	5.3	1.9	30.4	15.6	2.2	2.2	4.8
	区西部	100.0 (416)	21.2	19.7	5.5	2.6	22.6	15.4	4.1	1.0	7.9
	区西北部	100.0 (630)	15.2	14.4	6.0	3.3	33.2	14.8	3.7	4.9	4.4
	区東北部	100.0 (421)	20.7	11.6	5.7	1.9	29.7	12.6	4.8	6.9	6.2
	区東部	100.0 (392)	17.1	16.3	4.1	2.3	26.3	19.6	3.6	4.3	6.4
	市・町・村部 計	100.0 (1,530)	18.5	12.7	5.9	2.7	31.4	17.3	3.6	1.9	6.1
	西多摩	100.0 (152)	24.3	13.2	4.6	3.9	24.3	14.5	2.6	2.6	9.9
	南多摩	100.0 (491)	17.1	13.2	6.1	2.0	30.8	17.3	4.1	2.0	7.3
	北多摩西部	100.0 (268)	23.1	9.7	6.0	3.4	29.5	19.0	3.0	1.1	5.2
	北多摩南部	100.0 (311)	16.7	17.0	5.1	1.6	34.4	14.5	3.5	1.6	5.5
北多摩北部	100.0 (308)	15.6	<u>9.7</u>	6.8	3.9	34.4	<u>19.8</u>	3.9	2.3	3.6	
22年度		100.0 (4,767)	18.7	17.5	5.9	3.0	27.1	18.1	2.3	2.3	5.1

(2) 地域とのつながり－最長職業、世帯類型、1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別

趣味やスポーツ、地域活動などをしていない人は、活動している人より、地域とのつながりが「以前と変わらず弱い」と感じている割合が10.0ポイント高い

地域とのつながりを最長職業別にみると、家事専業、その他の就業を除いたすべての職業で「以前と変わらず弱い」が最も高い割合になっている（25.0%～36.2%）。

家事専業、その他の就業では、「少し弱くなっている」の割合が最も高く、それぞれ24.2%、29.3%となっている。

世帯類型別にみると、高齢者のみの世帯の人も、高齢者のみでない世帯の人も、「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く、それぞれ31.4%、29.3%となっている。

1年間に行った活動の状況別にみると、活動をしている人、活動はしていない人とも、「以前と変わらず弱い」の割合が最も高く（25.2%、35.2%）、活動はしていない人の方が10.0ポイント高くなっている。（表7-12）

表7-12 地域とのつながり

－最長職業、世帯類型、1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別

	総数	少し弱くなっている	弱くなっている	少し強くなっている	強くなっている	弱以前と変わらず	強以前と変わらず	その他	変わらない	無回答	
総数	100.0 (4,390)	18.2	15.6	5.6	2.5	30.3	15.4	3.5	3.0	5.9	
最長職業別	自営業者	100.0 (1,057)	20.5	14.9	4.8	3.2	<u>25.0</u>	16.3	3.4	3.8	8.1
	正規の職員・従業員	100.0 (1,915)	15.0	14.6	6.2	2.8	<u>36.2</u>	15.1	3.3	2.3	4.4
	会社などの役員	100.0 (198)	16.7	14.1	7.6	1.5	<u>35.4</u>	15.7	1.5	2.0	5.6
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (521)	19.2	20.0	4.4	1.7	<u>27.4</u>	16.1	4.0	3.3	3.8
	家事専業	100.0 (517)	<u>24.2</u>	15.7	4.8	1.4	23.6	14.3	3.5	4.3	8.3
	仕事に就いたことはない	100.0 (76)	15.8	23.7	7.9	-	<u>25.0</u>	15.8	6.6	-	5.3
	その他の就業	100.0 (58)	<u>29.3</u>	13.8	6.9	-	13.8	12.1	10.3	6.9	6.9
	世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	17.4	15.4	5.8	2.4	<u>31.4</u>	16.0	3.7	3.1
ひとり暮らし		100.0 (938)	14.1	14.4	6.3	2.0	35.4	15.1	5.5	3.2	3.9
高齢者夫婦のみ		100.0 (1,453)	19.1	16.0	5.4	2.7	29.2	17.2	2.5	3.1	4.7
その他		100.0 (129)	22.5	15.5	5.4	2.3	27.9	8.5	2.3	1.6	14.0
高齢者のみでない世帯		100.0 (1,835)	19.2	16.0	5.3	2.3	<u>29.3</u>	14.4	3.3	2.9	7.2
1年間に行った活動の状況〔複数回答〕別	活動している	100.0 (2,037)	19.8	13.6	8.5	4.1	<u>25.2</u>	20.4	2.5	3.6	2.3
	趣味・学習・スポーツ活動	100.0 (1,597)	19.9	14.4	8.3	3.7	26.4	19.3	2.4	3.5	2.1
	自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動	100.0 (666)	17.1	10.7	11.7	7.4	17.3	27.9	1.8	3.9	2.3
	地域行事を支援する活動	100.0 (559)	17.9	11.3	11.1	7.5	12.3	32.2	1.3	4.3	2.1
	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	100.0 (342)	21.1	8.8	9.4	7.0	14.0	31.9	2.6	4.4	0.9
	地域の伝統や文化を伝える活動	100.0 (173)	22.0	15.0	9.8	9.8	8.7	26.6	1.2	4.6	2.3
	防犯や災害時の救援・支援をする活動	100.0 (270)	18.1	7.8	11.9	8.9	13.7	32.6	1.1	4.4	1.5
	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	100.0 (131)	19.1	9.9	8.4	10.7	9.9	33.6	0.8	6.1	1.5
	障害のある人を支援する活動	100.0 (85)	11.8	8.2	10.6	10.6	20.0	28.2	2.4	4.7	3.5
	青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	100.0 (91)	23.1	15.4	8.8	9.9	6.6	29.7	1.1	3.3	2.2
	介護が必要な高齢者を支援する活動	100.0 (110)	16.4	10.9	9.1	8.2	13.6	33.6	0.9	3.6	3.6
	子育てを支援する活動	100.0 (70)	21.4	10.0	11.4	10.0	12.9	25.7	4.3	1.4	2.9
	外国人を支援する活動	100.0 (32)	28.1	9.4	18.8	3.1	9.4	31.3	-	-	-
	その他	100.0 (38)	7.9	15.8	13.2	7.9	31.6	7.9	5.3	5.3	5.3
活動はしていない	100.0 (2,016)	16.6	17.8	2.9	1.0	<u>35.2</u>	11.2	4.5	2.5	8.3	

7 心配や悩み事

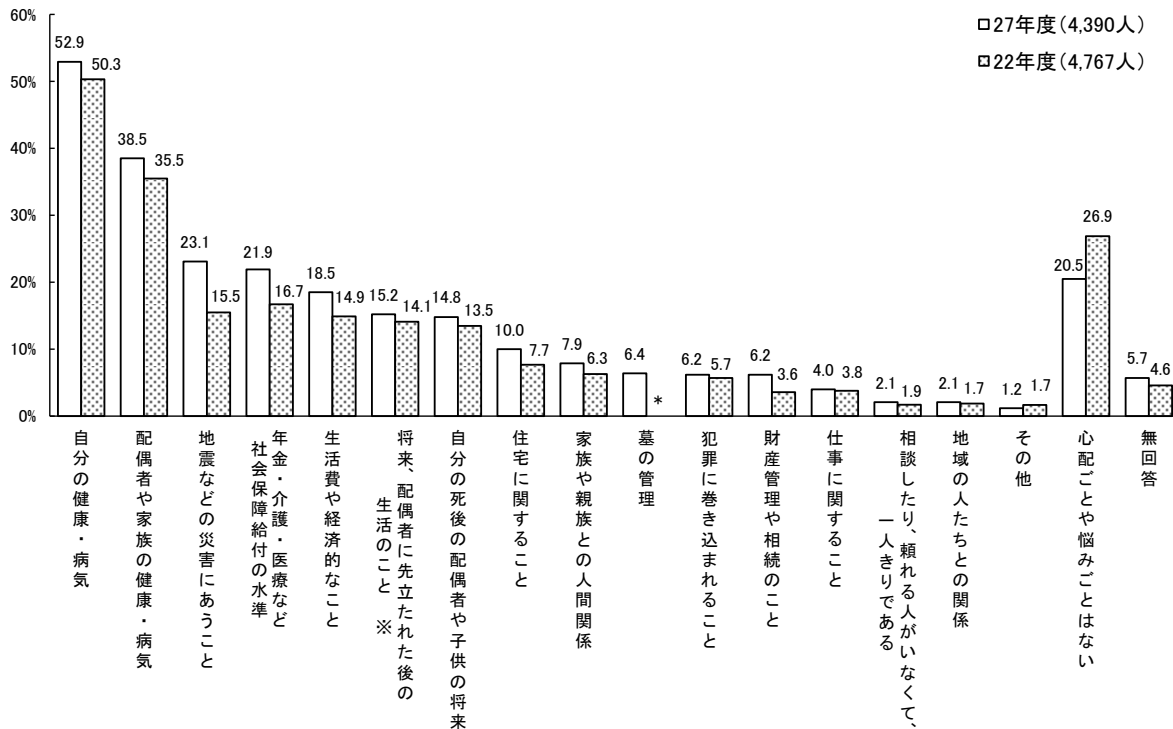
(1) 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕

「自分の健康・病気」の割合が最も高く、5割

対象者全員に、心配ごとや悩みごとがあるか聞いたところ、「自分の健康・病気」の割合が最も高く 52.9%、次いで「配偶者や家族の健康・病気」が 38.5%となっている。

一方、「心配ごとや悩みごとはない」の割合は 20.5%であった。(図 7-9)

図 7-9 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕



注1) * 「墓の管理」は 22 年度調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの。

2) 22 年度調査では、※は「配偶者に先立たれた後の生活のこと」としていた。

ア 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕－性、世帯構成(世代)、住宅の種類別

男女とも「自分の健康・病気」の割合が最も高く、それぞれ5割

心配ごとや悩みごとの内容を性別で見ると、男女とも、「自分の健康・病気」の割合が最も高く、それぞれ52.8%、53.0%となっている。

「配偶者や家族の健康・病気」の割合は、男性41.3%、女性36.3%、「将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと」の割合は、男性18.3%、女性12.8%で、どちらも男性の方が高い割合となっている。

世帯構成(世代)別にみると、単身世帯(ひとり暮らし)は「相談したり、頼れる人がいなくて、一人きりである」の割合が6.6%で、他の世帯に比べて高い割合になっている。

また、一世代(夫婦のみ)は、「配偶者や家族の健康・病気」の割合が54.4%、「将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと」が26.7%で、他の世帯に比べて高い割合になっている。

住宅の種類別にみると、民間賃貸住宅に住む人は、「生活費や経済的なこと」の割合が35.5%、「年金・介護・医療など社会保障給付の水準」、「住宅に関すること」がともに27.7%で、それぞれ総数の割合(18.5%、21.9%、10.0%)と比べて高い割合になっている。(表7-13)

表7-13 心配ごとや悩みごとの内容〔複数回答〕－性、世帯構成(世代)、住宅の種類別

	総数	自分の健康・病気	配偶者や家族の健康・病気	家族や親族との人間関係	相談したり、一人きりである人がい	地域の人たちとの関係	生活費や経済的なこと	年金・介護・医療など社会保障給付の水準	住宅に関すること	仕事に関すること	財産管理や相続のこと	犯罪に巻き込まれること	地震などの災害にあうこと	後将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと	自分の死後の配偶者や子供の将来	墓の管理	その他	心配ごとや悩みごとはない	無回答	
総数	100.0 (4,390)	52.9	38.5	7.9	2.1	2.1	18.5	21.9	10.0	4.0	6.2	6.2	23.1	15.2	14.8	6.4	1.2	20.5	5.7	
性別	男	100.0 (1,949)	52.8	41.3	8.5	2.1	1.9	18.7	22.8	10.1	5.9	6.6	4.7	18.8	18.3	16.5	6.8	1.5	20.8	6.1
	女	100.0 (2,441)	53.0	36.3	7.4	2.1	2.1	18.3	21.1	9.8	2.4	5.9	7.4	26.6	12.8	13.4	6.1	1.0	20.2	5.4
(世帯構成)別	単身世帯(ひとり暮らし)	100.0 (938)	54.8	9.3	6.1	6.6	2.3	23.3	22.7	11.5	4.5	5.9	6.0	22.0	0.7	4.5	6.0	1.9	24.4	3.3
	一世代(夫婦のみ)	100.0 (1,630)	54.4	54.4	8.0	0.8	2.3	16.9	24.0	10.2	4.2	6.6	7.2	23.8	26.7	17.3	7.2	1.0	18.5	4.5
	二世代	100.0 (1,376)	52.1	42.2	9.3	0.9	1.7	18.4	20.4	10.1	3.8	6.0	5.2	23.6	14.5	20.4	6.4	1.2	18.5	6.8
	三世代	100.0 (330)	44.8	29.1	6.1	0.9	1.2	11.5	13.6	2.4	2.1	4.8	5.8	19.7	6.1	8.2	3.0	1.2	27.3	13.3
住宅の種類別	持家(一戸建て)	100.0 (2,637)	52.5	41.4	8.2	1.4	2.0	12.4	19.3	6.8	3.3	7.7	6.4	24.9	15.9	15.6	6.0	1.2	20.5	6.3
	持家(分譲マンションなど)	100.0 (715)	53.6	39.4	8.5	1.4	3.2	18.9	22.5	6.9	3.2	7.0	6.4	22.8	15.8	15.4	8.3	1.0	22.7	4.3
	民間賃貸住宅	100.0 (560)	52.7	27.1	6.3	5.4	0.9	35.5	27.7	27.7	7.0	1.6	4.6	17.3	10.9	10.7	6.1	1.6	19.3	3.4
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (245)	55.9	37.6	6.1	4.5	2.9	32.2	29.8	6.5	4.1	1.6	8.2	21.6	17.6	16.3	5.3	1.2	18.8	5.7
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (107)	60.7	37.4	9.3	2.8	-	32.7	32.7	18.7	5.6	1.9	3.7	16.8	16.8	10.3	1.9	0.9	19.6	1.9
	借家(一戸建て)	100.0 (48)	56.3	41.7	4.2	-	2.1	33.3	20.8	27.1	12.5	2.1	6.3	22.9	12.5	18.8	12.5	2.1	12.5	10.4
	高齢者向け住宅など	100.0 (32)	34.4	9.4	6.3	-	-	9.4	9.4	-	-	-	-	15.6	3.1	3.1	6.3	-	37.5	21.9
	その他	100.0 (28)	50.0	21.4	7.1	3.6	-	35.7	32.1	14.3	7.1	3.6	10.7	25.0	7.1	17.9	10.7	3.6	10.7	10.7

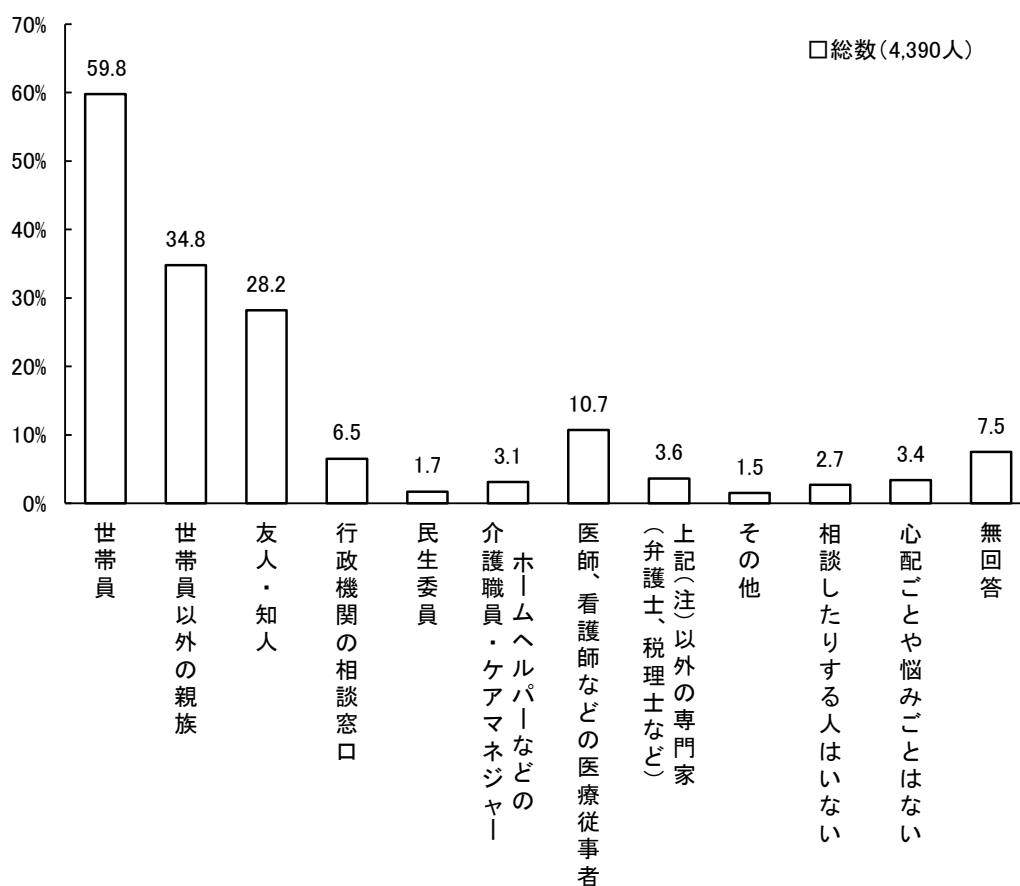
(2) 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕

対象者全員に、心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談するか聞いた。

「世帯員」の割合が最も高く、6割

「世帯員」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「世帯員以外の親族」が 34.8%、「友人・知人」が 28.2%となっている。(図 7-10)

図 7-10 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕



注) 上記とは、「医師、看護師などの医療従事者」を指す。

ア 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕一性、世帯構成（世代）別

男女とも「世帯員」の割合が最も高くなっている（男性 65.0%、女性 55.6%）

心配ごとや悩みごとができた場合、誰に相談するのかを性別で見ると、男女とも「世帯員」の割合が最も高く（65.0%、55.6%）、次いで「世帯員以外の親族」（26.6%、41.4%）となっている。「世帯員」については、男性の方が 9.4 ポイント高く、「世帯員以外の親族」については、女性の方が 14.8 ポイント高くなっている。

世帯構成（世代）別にみると、単身世帯（ひとりぐらし）では「相談したりする人はいない」の割合が 7.1%で、他の世帯に比べて高い割合になっている。（表 7-14）

表 7-14 心配ごとや悩みごとの相談相手〔複数回答〕一性、世帯構成（世代）別

		総数	世帯員	世帯員以外の親族	友人・知人	行政機関の相談窓口	民生委員	ホームヘルパーなどの介護職員・ケアマネジャー	医師、看護師などの医療従事者	上記（注）以外の専門家（弁護士、税理士など）	その他	相談したりする人はいない	心配ごとや悩みごとはない	無回答
総数		100.0 (4,390)	59.8	34.8	28.2	6.5	1.7	3.1	10.7	3.6	1.5	2.7	3.4	7.5
性別	男	100.0 (1,949)	<u>65.0</u>	<u>26.6</u>	21.6	7.5	1.8	2.1	11.7	4.5	1.4	3.6	4.6	8.0
	女	100.0 (2,441)	<u>55.6</u>	<u>41.4</u>	33.4	5.7	1.6	3.9	9.8	3.0	1.6	2.0	2.4	7.1
（世代）別 世帯構成	単身世帯（ひとりぐらし）	100.0 (938)	-	49.3	36.7	8.4	2.2	4.8	10.3	3.3	2.6	<u>7.1</u>	4.9	8.0
	一世代（夫婦のみ）	100.0 (1,630)	78.2	35.6	27.4	7.1	1.8	2.9	12.3	4.4	1.0	1.7	3.2	5.5
	二世代	100.0 (1,376)	74.9	27.2	26.1	5.5	1.2	2.2	9.2	3.5	1.6	1.0	2.7	8.1
	三世代	100.0 (330)	75.2	22.1	16.4	2.4	0.6	3.0	9.7	2.4	1.2	2.1	3.9	12.7

注) 上記とは、「医師、看護師などの医療従事者」を指す。

8 地域包括支援センターの認知度

「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は12.8%

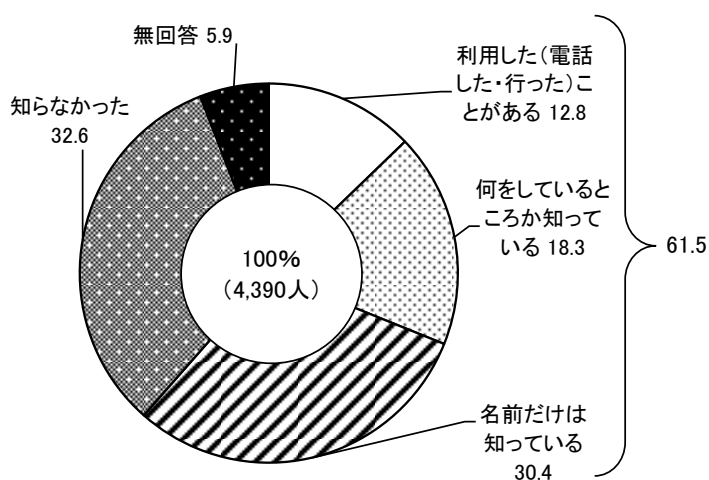
対象者全員に、地域包括支援センターについて聞いたところ、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合が12.8%、「何をしているところか知っている」18.3%、「名前だけは知っている」30.4%で、これらを合わせた「知っている」の割合は、61.5%となっている。（図7-11）

※ 地域包括支援センターについて

地域包括支援センターとは、高齢者が住み慣れた地域で、健康で生き生きとした生活を送れるよう、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの職員が高齢者やその家族などを総合的に支援する窓口のこと。各区市町村が設置しており、地域によっては、親しみやすい名称で呼んでいる場合もある。

例：高齢者総合相談センター、高齢者あんしん相談センター、おとしより相談センター、あんしんすこやかセンター、熟年相談室など

図7-11 地域包括支援センターの認知度



(1) 地域包括支援センターの認知度－性・年齢階級、世帯類型別

「知らなかった」の割合は、いずれの年齢階級においても3割、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、年齢階級が上がるにつれて高くなっている

地域包括支援センターの認知度を性別でみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、男性9.7%、女性15.3%で、女性の方が5.6ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、年齢階級が上がるにつれて、高くなっている（9.9%～20.0%）。一方、「知らなかった」の割合は、いずれの年齢階級においても約3割となっている。

世帯類型別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、高齢者のみの世帯は13.8%、高齢者のみでない世帯は11.4%で、高齢者のみの世帯の方が2.4ポイント高くなっている。一方、「知らなかった」の割合は、いずれの世帯においても約3割となっている。（表7-15）

表7-15 地域包括支援センターの認知度－性・年齢階級、世帯類型別

		総 数	利 用 し た こ と 電 話 し た ・ 行 っ た	知 り な か っ た	名 前 だ け は 知 っ て い る	知 ら な か っ た	無 回 答
総数		100.0 (4,390)	12.8	18.3	30.4	32.6	5.9
性 別	男	100.0 (1,949)	<u>9.7</u>	16.1	30.8	37.4	6.0
	女	100.0 (2,441)	<u>15.3</u>	20.1	30.0	28.8	5.8
年 齢 階 級 別	65～74歳	100.0 (2,357)	<u>9.9</u>	19.9	32.4	<u>34.7</u>	3.1
	75～84歳	100.0 (1,587)	<u>15.1</u>	18.3	30.3	<u>30.8</u>	5.5
	85歳以上	100.0 (446)	<u>20.0</u>	10.1	19.7	<u>28.0</u>	22.2
世 帯 類 型 別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	<u>13.8</u>	19.7	29.4	32.1	4.9
	ひとり暮らし	100.0 (938)	15.4	17.8	27.9	<u>35.5</u>	3.4
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,453)	12.6	21.3	30.7	<u>30.3</u>	5.1
	その他	100.0 (129)	17.1	14.7	25.6	<u>28.7</u>	14.0
	高齢者のみでない世帯	100.0 (1,835)	<u>11.4</u>	16.6	31.3	<u>33.5</u>	7.1

(2) 地域包括支援センターの認知度

－介護の状況、動作能力類型、要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無別

「認定を申請中」、「認定を受けている」人でも、「知らなかった」の割合が約2割

地域包括支援センターの認知度を介護の状況別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、介護をしている人は29.3%、介護をしていない人は10.8%で、介護をしている人の方が18.5ポイント高くなっている。

動作能力類型別にみると、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合は、寝たきりなどの高齢者が最も高く20.2%となっている。

要介護認定申請の有無別にみると、認定を受けている人は、「利用した（電話した・行った）ことがある」の割合が最も高く32.2%で、総数の割合（12.8%）と比べて高い割合となっている。一方、「知らなかった」の割合は、認定を申請中の人の方が18.5%、認定を受けている人が21.9%で、それぞれ約2割となっている。（表7-16）

表7-16 地域包括支援センターの認知度

－介護の状況、動作能力類型、要介護認定（要支援認定を含む。）申請の有無別

	総数	利用した（電話した・行った）ことがある	何をしていないところか	名前だけは知っている	知らなかった	無回答	
総数	100.0 (4,390)	12.8	18.3	30.4	32.6	5.9	
介護の状況別	介護をしている	100.0 (474)	29.3	20.5	25.1	23.2	1.9
	介護をしていない	100.0 (3,802)	10.8	18.3	30.7	34.1	6.1
動作能力類型別	寝たきりなどの高齢者	100.0 (362)	20.2	2.5	12.2	24.0	41.2
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (356)	15.7	9.8	28.9	36.2	9.3
	軽い障害のある高齢者	100.0 (907)	15.0	18.7	30.9	33.5	1.9
	障害のない高齢者	100.0 (2,665)	10.8	21.8	32.8	32.9	1.7
要介護認定申請の有無別	認定を申請していない	100.0 (3,731)	9.9	20.5	32.8	34.3	2.6
	認定を申請中	100.0 (27)	25.9	-	25.9	18.5	29.6
	認定を申請したが、「自立」と認定された	100.0 (19)	36.8	10.5	15.8	31.6	5.3
	認定を受けている	100.0 (547)	32.2	5.9	13.2	21.9	26.9

第8章 社会参加

1 1年間に行った活動の状況と今後の活動意向

(1) 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕

「活動している」割合は、4割超

対象者全員に、この1年間に趣味やスポーツ、地域活動などを行ったか聞いたところ、「活動している」の割合は46.4%で、「活動はしていない」は45.9%となっている。(図8-1)

活動している人(2,037人)に、どのような活動を行ったか聞いたところ、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高く78.4%、次いで「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」が32.7%、「地域行事を支援する活動」が27.4%となっている。(図8-2)

図8-1 1年間に行った活動の状況

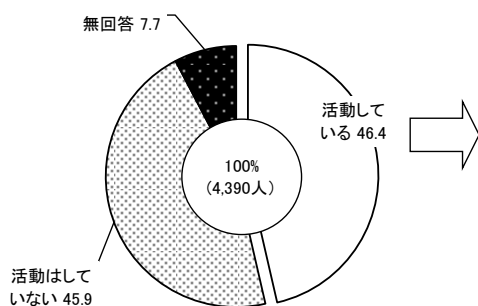
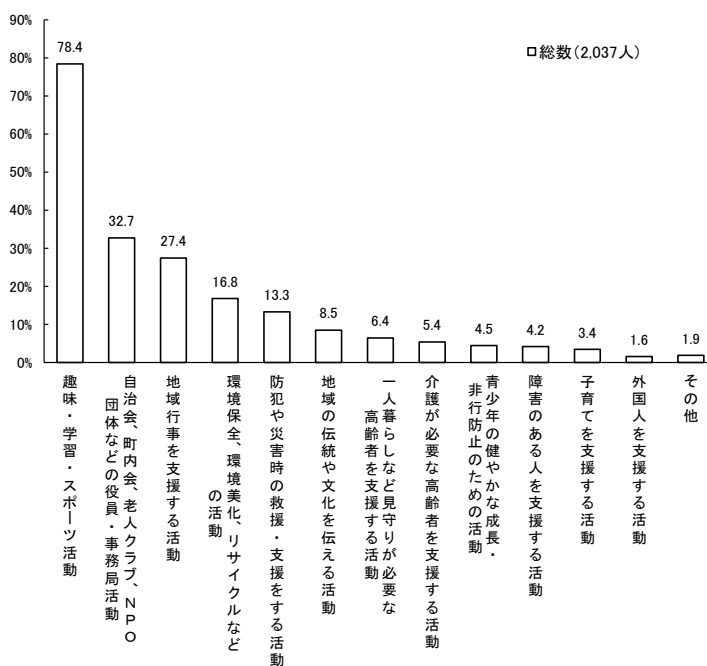


図8-2 活動している人の活動内容〔複数回答〕



ア 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性・年齢階級別

男女とも「活動している」割合は、それぞれ4割超

この1年間に行った活動を性別で見ると、男女とも「活動している」の割合は、それぞれ45.9%、46.8%で4割を超えている。活動内容は、男女とも「趣味・学習・スポーツ活動」の割合がそれぞれ34.3%、38.0%で最も高く、次いで「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」で、それぞれ17.3%、13.4%となっている。（表8-1）

表8-1 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	活動している	趣味・学習・スポーツ活動	活動NPO団体などの役員・事務局	自治会、町内会、老人クラブ、	地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者を支援する活動	一人暮らしなど見守りが必要な	障害のある人を支援する活動	青少年のための健康やかな成長・非行防止のための活動	活動介護が必要な高齢者を支援する	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	活動はしていない	無回答
総数	100.0 (4,390)	46.4	36.4	15.2	12.7	7.8	3.9	6.2	3.0	1.9	2.1	2.5	1.6	0.7	0.9	45.9	7.7		
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	45.9	34.3	17.3	13.8	8.0	4.6	7.6	2.3	1.9	3.0	2.2	1.4	0.9	1.0	46.9	7.2	
	65～69歳	100.0 (611)	47.8	37.0	15.4	15.4	6.5	5.1	7.7	1.5	1.6	2.9	2.3	2.1	1.0	0.8	45.0	7.2	
	70～74歳	100.0 (504)	49.6	37.5	19.6	15.3	10.5	5.6	8.7	2.6	2.4	3.4	2.2	1.4	1.0	1.0	43.3	7.1	
	75～79歳	100.0 (417)	45.3	32.4	20.1	13.7	8.6	4.3	8.2	2.6	2.2	3.6	2.4	0.7	1.2	1.0	47.0	7.7	
	80～84歳	100.0 (254)	43.3	31.9	16.5	9.8	7.9	3.1	6.3	3.1	1.6	2.8	0.8	0.4	0.4	2.0	52.4	4.3	
	85歳以上	100.0 (163)	33.1	23.3	11.7	9.8	3.7	3.1	4.9	2.5	1.2	0.6	3.1	1.8	-	-	56.4	10.4	
	女	100.0 (2,441)	46.8	38.0	13.4	11.9	7.7	3.4	5.0	3.5	2.0	1.4	2.8	1.8	0.6	0.8	45.1	8.1	
	65～69歳	100.0 (647)	53.9	44.7	14.1	14.1	11.3	4.0	6.3	4.3	3.2	2.2	3.4	3.2	0.9	0.9	35.9	10.2	
	70～74歳	100.0 (595)	52.8	41.5	16.8	13.9	7.2	3.4	5.4	4.2	2.2	1.3	3.7	2.4	0.8	1.2	39.5	7.7	
	75～79歳	100.0 (515)	48.2	40.6	13.6	13.2	7.8	3.7	6.0	4.5	1.9	1.7	2.9	1.2	0.4	0.2	46.2	5.6	
	80～84歳	100.0 (401)	39.4	29.9	12.7	8.0	6.7	2.5	3.5	1.7	0.7	0.5	1.2	0.2	0.5	1.0	51.6	9.0	
85歳以上	100.0 (283)	25.8	22.3	5.7	5.7	1.4	2.8	1.1	1.1	0.4	-	1.4	0.4	-	0.4	67.1	7.1		

イ 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－地域別

「活動している」割合は、区部よりも市町村部の方が高くなっている

この1年間に行った活動を地域別にみると、「活動している」の割合は、区部 43.6%、市町村部 51.6%で、市町村部の方が8.0ポイント高くなっている。

区東北部、区東部は、「活動はしていない」割合が5割を超えている。

活動内容をみると、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合は、区部 34.7%、市町村部 39.5%で4.8ポイントの差があり、他の活動と比較して最も差が大きくなっている。(表8-2)

表 8-2 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕－地域別

	総数	活動している	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局	自治会、町内会、老人クラブ	地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	活動はしていない	無回答
総数	100.0 (4,390)	46.4	36.4	15.2	12.7	7.8	3.9	6.2	3.0	1.9	2.1	2.5	1.6	0.7	0.9	45.9	7.7	
区部 計	100.0 (2,860)	43.6	34.7	14.0	11.7	6.6	3.7	6.2	2.8	1.9	1.9	2.3	1.3	0.7	0.9	47.9	8.5	
区中央部	100.0 (249)	48.6	39.8	16.1	16.9	5.2	8.0	8.0	4.0	2.0	1.6	2.4	1.6	2.0	1.2	39.0	12.4	
区南部	100.0 (334)	45.5	34.7	15.9	15.0	7.8	3.3	8.4	1.5	1.8	1.8	2.1	1.8	0.3	0.6	46.7	7.8	
区西南部	100.0 (418)	41.9	35.4	12.9	10.3	6.7	3.8	6.0	2.4	1.2	2.9	2.6	0.5	1.0	0.7	48.8	9.3	
区西部	100.0 (416)	48.8	41.3	12.5	11.1	5.5	2.6	5.5	3.6	2.2	1.7	1.9	1.9	1.0	0.7	44.0	7.2	
区西北部	100.0 (630)	45.1	36.7	13.2	9.4	6.8	3.5	6.0	3.2	2.2	1.9	3.2	1.1	0.8	1.3	47.3	7.6	
区東北部	100.0 (421)	37.8	24.7	14.7	11.6	6.9	3.6	5.7	2.6	1.4	1.9	1.9	1.7	0.2	0.7	53.7	8.6	
区東部	100.0 (392)	39.3	31.4	14.3	12.0	6.6	3.1	4.8	2.6	2.0	1.0	1.3	1.0	-	1.3	52.6	8.2	
市・町・村部 計	100.0 (1,530)	51.6	39.5	17.4	14.6	10.1	4.3	6.1	3.3	2.1	2.5	2.9	2.1	0.8	0.7	42.2	6.2	
西多摩	100.0 (152)	51.3	34.2	21.7	23.7	13.8	9.2	5.3	5.9	2.6	4.6	3.3	2.6	1.3	-	42.8	5.9	
南多摩	100.0 (491)	54.0	42.6	18.5	15.7	13.0	3.9	6.3	3.5	1.0	2.0	3.3	1.8	1.2	0.4	41.1	4.9	
北多摩西部	100.0 (268)	51.5	40.7	16.8	13.8	10.1	6.7	8.2	4.9	1.9	3.7	3.0	2.6	0.7	1.1	41.4	7.1	
北多摩南部	100.0 (311)	48.9	37.6	15.1	13.2	6.1	3.2	7.1	2.6	2.6	1.6	2.9	1.6	-	0.6	42.4	8.7	
北多摩北部	100.0 (308)	50.6	38.0	16.2	10.4	7.5	1.6	3.2	1.0	3.2	1.9	2.3	2.3	0.6	1.3	44.2	5.2	

ウ 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕

－健康意識、外出の頻度、地域とのつながり別

健康意識が悪い人ほど、「活動している」割合は低くなっている

この1年間に行った活動を健康意識別にみると、健康意識が悪い人ほど、「活動している」の割合は、低くなっている（21.6%～57.4%）。

外出の頻度別にみると、概ね、外出の頻度が低くなるにつれて、「活動している」の割合は低くなっている（9.9%～54.2%）。特に、ほとんど外出しない人は、「活動はしていない」の割合が81.6%で、8割を超えている。

地域とのつながり別にみると、地域とのつながりについて少し強くなっている、強くなっている、以前と変わらず強いと感じている人は、「活動している」の割合が、それぞれ70.7%、76.9%、61.5%で、6割以上となっている。また、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」の割合（31.7%、45.4%、27.6%）、「地域行事を支援する活動」の割合（25.2%、38.9%、26.7%）は、総数の割合（15.2%、12.7%）と比べて高い割合になっている。（表8-3）

表8-3 1年間に行った活動の状況〔複数回答〕

－健康意識、外出の頻度、地域とのつながり別

	総数	活動している	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブなどの役員・事務局活動	地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者や障害者の見守りが必要な活動	障害のある人を支援する活動	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	活動はしていない	無回答
総数	100.0 (4,390)	46.4	36.4	15.2	12.7	7.8	3.9	6.2	3.0	1.9	2.1	2.5	1.6	0.7	0.9	45.9	7.7	
健康意識別	よい	100.0 (1,156)	57.4	46.2	21.1	17.3	11.1	5.2	9.1	3.5	2.4	3.5	3.8	2.7	1.1	1.1	37.0	5.6
	まあよい	100.0 (841)	54.8	43.9	18.8	16.4	10.6	5.9	8.6	4.2	3.0	2.3	3.7	1.9	0.6	0.8	38.5	6.7
	ふつう	100.0 (1,378)	45.6	35.1	12.8	11.5	6.7	3.1	5.0	3.0	1.4	1.6	1.5	1.2	0.9	0.8	46.0	8.3
	あまりよくない	100.0 (593)	33.2	25.0	9.8	6.6	3.9	2.0	2.7	1.3	1.3	0.8	1.3	0.7	0.2	0.5	57.7	9.1
	よくない	100.0 (171)	21.6	15.8	8.2	4.7	4.1	1.2	2.3	1.8	1.2	1.2	1.2	0.6	-	1.2	70.2	8.2
外出の頻度別	ほぼ毎日	100.0 (2,547)	52.2	40.9	17.7	15.3	9.1	4.5	7.6	3.8	2.6	2.9	3.1	1.9	1.0	1.1	40.8	7.0
	週4回程度	100.0 (657)	54.2	45.4	15.1	13.4	8.8	4.4	5.3	3.0	1.4	0.9	2.7	1.5	0.6	0.8	38.4	7.5
	週2～3回程度	100.0 (700)	37.3	27.9	12.7	9.1	5.4	3.0	4.7	1.7	1.3	1.3	1.9	1.3	0.3	0.3	55.1	7.6
	週1回程度	100.0 (226)	27.0	19.5	8.4	5.8	4.9	2.2	2.7	0.9	-	0.4	-	0.9	0.4	0.4	64.2	8.8
	ほとんど外出しない	100.0 (223)	9.9	5.8	2.7	1.3	0.9	0.9	0.4	-	-	-	-	-	-	0.9	81.6	8.5
地域とのつながり別	少し弱くなっている	100.0 (798)	50.6	39.8	14.3	12.5	9.0	4.8	6.1	3.1	1.3	2.6	2.3	1.9	1.1	0.4	41.9	7.5
	弱くなっている	100.0 (684)	40.5	33.6	10.4	9.2	4.4	3.8	3.1	1.9	1.0	2.0	1.8	1.0	0.4	0.9	52.5	7.0
	少し強くなっている	100.0 (246)	70.7	53.7	31.7	25.2	13.0	6.9	13.0	4.5	3.7	3.3	4.1	3.3	2.4	2.0	24.0	5.3
	強くなっている	100.0 (108)	76.9	54.6	45.4	38.9	22.2	15.7	22.2	13.0	8.3	8.3	8.3	6.5	0.9	2.8	18.5	4.6
	以前と変わらず弱い	100.0 (1,332)	38.6	31.6	8.6	5.2	3.6	1.1	2.8	1.0	1.3	0.5	1.1	0.7	0.2	0.9	53.3	8.1
	以前と変わらず強い	100.0 (675)	61.5	45.8	27.6	26.7	16.1	6.8	13.0	6.5	3.6	4.0	5.5	2.7	1.5	0.4	33.5	5.0
	その他	100.0 (155)	32.3	24.5	7.7	4.5	5.8	1.3	1.9	0.6	1.3	0.6	0.6	1.9	-	1.3	58.1	9.7
変わらない	100.0 (132)	55.3	42.4	19.7	18.2	11.4	6.1	9.1	6.1	3.0	2.3	3.0	0.8	-	1.5	38.6	6.1	

(2) 今後の活動意向〔複数回答〕

「今後、参加してみたい（活動し続けたい）」割合は、4割超

対象者全員に、今後の活動意向について聞いたところ、「今後、参加してみたい（活動し続けたい）」の割合は45.3%で、「今後も参加予定はない」は38.7%となっている。（図8-3）

今後、参加してみたい（活動し続けたい）人（1,987人）に、どのような活動を行いたいか聞いたところ、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高く74.6%、次いで「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」が23.3%、「地域行事を支援する活動」が22.7%となっている。（図8-4）

図 8-3 今後の活動意向

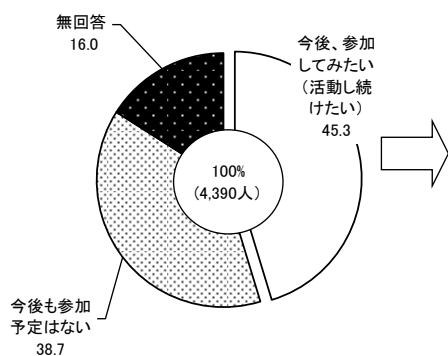
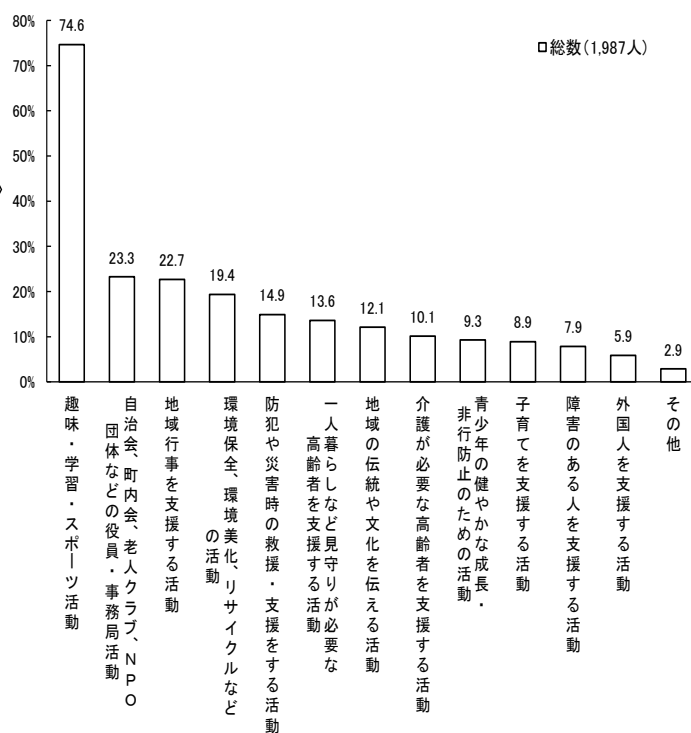


図 8-4 今後、参加してみたい（活動し続けたい）

活動内容〔複数回答〕



ア 今後の活動意向〔複数回答〕－性・年齢階級別

今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動内容は、男女とも、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高い

今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動内容を性別で見ると、男性は、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高く 30.9%、次いで「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」12.1%、「地域行事を支援する活動」11.2%となっている。女性は、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が最も高く 36.1%、次いで「地域行事を支援する活動」9.5%、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動」9.3%となっている。一方、「今後も参加予定はない」の割合は、男性 39.9%、女性 37.8%となっている。（表 8-4）

表 8-4 今後の活動意向〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総数	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者や見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	今後も参加予定はない	無回答	
総数	100.0 (4,390)	33.8	10.5	10.3	8.8	5.5	6.7	6.2	3.6	4.2	4.6	4.0	2.7	1.3	38.7	16.0	
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	<u>30.9</u>	<u>12.1</u>	<u>11.2</u>	9.4	6.3	8.6	5.9	4.0	5.7	4.3	3.6	1.2	<u>39.9</u>	16.5	
	65～69歳	100.0 (611)	35.5	11.9	12.8	11.0	8.2	10.5	6.7	4.9	7.2	4.7	5.4	6.5	0.7	35.5	15.2
	70～74歳	100.0 (504)	33.9	13.3	14.1	12.3	9.5	11.7	6.2	5.0	7.1	5.8	4.4	3.8	1.4	37.7	14.7
	75～79歳	100.0 (417)	29.3	13.7	9.6	7.7	3.8	7.0	6.7	3.6	6.2	4.6	2.4	2.2	1.7	41.5	15.8
	80～84歳	100.0 (254)	26.0	10.6	6.3	6.7	2.0	3.1	3.9	1.6	1.6	1.2	1.2	0.4	2.0	46.1	17.7
	85歳以上	100.0 (163)	16.0	6.7	8.6	3.7	2.5	4.3	3.1	1.8	1.2	2.5	1.8	0.6	0.6	49.1	26.4
	女	100.0 (2,441)	<u>36.1</u>	<u>9.3</u>	<u>9.5</u>	8.2	4.8	5.3	6.3	3.2	3.0	4.8	4.3	1.9	1.4	<u>37.8</u>	15.6
	65～69歳	100.0 (647)	43.4	10.2	11.9	11.9	6.5	7.6	9.0	4.0	4.6	6.3	8.3	2.9	1.9	29.1	14.8
	70～74歳	100.0 (595)	38.2	12.3	10.9	8.4	5.2	6.7	8.6	4.7	4.2	7.6	5.5	2.4	2.0	33.9	13.4
	75～79歳	100.0 (515)	38.8	8.9	10.3	9.3	5.6	5.4	6.0	3.9	2.5	3.7	2.3	1.7	0.8	41.0	10.7
80～84歳	100.0 (401)	29.2	8.2	6.7	5.7	2.0	2.5	2.7	0.7	1.2	1.7	1.5	1.0	1.0	47.6	15.2	
85歳以上	100.0 (283)	19.8	3.2	3.5	1.1	2.8	0.7	1.4	0.7	-	1.8	0.4	0.4	0.4	46.3	31.8	

イ 今後の活動意向〔複数回答〕－地域別

「今後も参加予定はない」の割合は約4割で、市町村部よりも区部の方が高い

今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動内容を地域別にみると、区部、市町村部とも「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が、それぞれ32.6%、36.0%で最も高くなっている。

一方、「今後も参加予定はない」の割合は、区部40.9%、市町村部34.7%で、区部の方が6.2ポイント高くなっている。（表8-5）

表8-5 今後の活動意向〔複数回答〕－地域別

	総数	趣味・学習・スポーツ活動	NPO団体などの役員・事務局、活動	自治会、町内会、老人クラブ、地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者を支援する活動	一人暮らしなど見守りが必要な障害のある人を支援する活動	青少年のための健やかな成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	今後も参加予定はない	無回答
総数	100.0 (4,390)	33.8	10.5	10.3	8.8	5.5	6.7	6.2	3.6	4.2	4.6	4.0	2.7	1.3	38.7	16.0
区部 計	100.0 (2,860)	32.6	9.4	9.3	7.8	5.4	6.4	5.9	3.4	4.0	4.2	4.1	2.7	1.3	40.9	16.0
区中央部	100.0 (249)	35.3	8.8	12.0	8.8	6.8	4.4	6.0	4.0	3.6	3.6	6.8	5.6	2.8	30.5	24.1
区南部	100.0 (334)	34.4	13.8	12.0	10.2	6.3	8.7	6.9	4.8	6.3	3.9	6.0	4.5	1.5	38.3	12.9
区西南部	100.0 (418)	34.0	9.3	8.9	8.1	4.5	6.7	6.2	2.4	4.3	5.7	3.6	2.2	0.2	42.6	16.7
区西部	100.0 (416)	39.7	8.9	10.3	7.2	5.8	7.9	5.0	3.1	3.4	2.2	3.6	3.1	1.2	34.1	16.3
区西北部	100.0 (630)	30.6	8.6	7.9	7.3	5.6	5.7	6.0	3.0	3.2	4.8	3.5	1.6	1.7	42.1	15.1
区東北部	100.0 (421)	24.7	8.6	8.3	6.9	4.8	6.4	6.4	2.9	4.0	5.0	3.1	2.6	1.4	47.7	14.3
区東部	100.0 (392)	31.9	8.9	8.2	6.9	4.6	5.1	4.8	4.3	3.6	3.8	3.6	1.5	0.8	45.7	15.6
市・町・村部 計	100.0 (1,530)	36.0	12.6	12.0	10.7	5.7	7.3	6.6	3.9	4.7	5.2	4.0	2.5	1.2	34.7	16.1
西多摩	100.0 (152)	32.2	12.5	14.5	10.5	8.6	6.6	7.2	4.6	5.9	4.6	4.6	1.3	0.7	33.6	20.4
南多摩	100.0 (491)	40.5	13.2	12.4	12.0	4.7	6.9	6.9	3.3	3.7	5.5	3.9	2.6	1.2	32.6	15.3
北多摩西部	100.0 (268)	37.7	11.9	13.4	12.7	4.5	10.4	7.8	3.0	6.0	5.2	4.1	2.6	0.7	32.1	17.2
北多摩南部	100.0 (311)	32.8	11.9	11.9	10.6	8.0	8.4	7.1	5.5	5.5	5.8	4.8	4.5	1.3	36.7	16.7
北多摩北部	100.0 (308)	32.5	13.0	9.1	6.8	4.5	4.5	4.2	3.6	3.9	4.5	2.9	1.0	1.9	39.0	13.6

ウ 今後の活動意向〔複数回答〕－健康意識、外出の頻度、地域とのつながり別

健康意識が悪い人ほど、「今後も参加予定はない」の割合は高くなっている

今後、参加してみたい（活動し続けたい）活動を健康意識別にみると、健康意識が悪い人ほど、「今後も参加予定はない」の割合が高く、健康意識がよい人が 33.6%なのに対し、よくない人は 65.5%で、31.9 ポイント高くなっている。

地域とのつながり別にみると、「自治会、町内会、老人クラブ、NPO 団体などの役員・事務局活動」、「地域行事を支援する活動」の割合は、地域とのつながりが強くなっていると感じている人の方が、弱くなっていると感じている人に比べて 20 ポイント以上高くなっている。（表 8-6）

表 8-6 今後の活動意向〔複数回答〕－健康意識、外出の頻度、地域とのつながり別

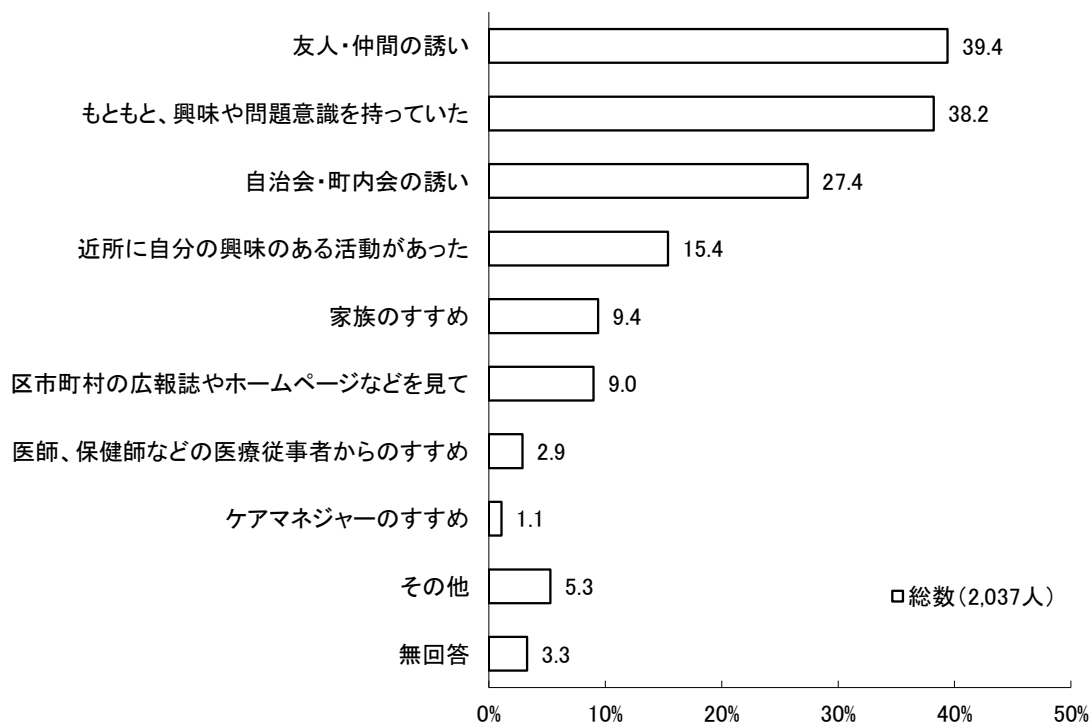
	総数	趣味・学習・スポーツ活動	NPO 団体などの役員・事務局活動	自治会、町内会、老人クラブ、地域行事を支援する活動	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	防犯や災害時の救援・支援をする活動	高齢者を支援する活動	一人暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	青少年の健全な成長・非行防止のための活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	子育てを支援する活動	外国人を支援する活動	その他	今後も参加予定はない	無回答
総数	100.0 (4,390)	33.8	10.5	10.3	8.8	5.5	6.7	6.2	3.6	4.2	4.6	4.0	2.7	1.3	38.7	16.0	
健康意識別	よい	100.0 (1,156)	43.0	15.1	14.6	12.2	7.4	10.0	7.6	4.2	5.6	6.1	5.4	3.5	1.2	<u>33.6</u>	10.5
	まあよい	100.0 (841)	38.9	11.9	12.8	11.4	7.4	7.7	7.8	5.5	5.7	7.1	6.1	3.4	1.1	<u>36.3</u>	10.9
	ふつう	100.0 (1,378)	33.7	9.7	8.9	7.6	5.0	6.4	6.0	3.0	3.8	3.8	3.3	2.5	1.7	<u>40.9</u>	13.1
	あまりよくない	100.0 (593)	26.5	6.9	6.7	6.1	3.4	3.7	4.2	2.7	2.4	2.0	2.4	1.9	1.2	<u>55.0</u>	9.8
	よくない	100.0 (171)	17.5	6.4	4.7	3.5	1.8	1.8	4.1	2.3	2.9	3.5	2.3	1.2	2.3	<u>65.5</u>	9.4
外出の頻度別	ほぼ毎日	100.0 (2,547)	38.0	12.4	12.2	9.8	6.3	8.3	7.3	4.2	5.1	5.5	4.3	3.2	1.3	35.4	13.1
	週4回程度	100.0 (657)	40.5	12.0	11.7	11.6	5.9	7.0	6.8	4.1	4.0	5.0	5.0	3.3	1.4	31.5	15.7
	週2～3回程度	100.0 (700)	27.6	7.4	7.4	6.6	4.6	4.3	4.9	2.7	2.9	3.6	3.9	1.6	0.9	48.4	15.9
	週1回程度	100.0 (226)	18.6	4.0	3.1	4.9	2.7	2.7	1.3	1.3	2.2	0.9	2.7	1.3	1.8	57.1	19.0
	ほとんど外出しない	100.0 (223)	5.4	1.3	1.3	0.4	0.4	0.4	0.9	-	0.4	0.4	0.4	-	1.8	51.1	39.0
地域とのつながり別	少し弱くなっている	100.0 (798)	37.6	10.8	11.0	10.8	6.4	7.9	8.8	4.9	5.6	6.8	5.9	3.8	1.0	37.7	11.2
	弱くなっている	100.0 (684)	32.9	<u>7.9</u>	<u>7.9</u>	6.6	4.4	4.8	4.7	1.8	3.9	2.8	3.7	2.0	1.0	48.8	9.1
	少し強くなっている	100.0 (246)	48.0	19.9	17.1	13.8	8.1	12.6	9.3	5.7	6.5	6.9	6.5	4.5	2.0	21.5	14.6
	強くなっている	100.0 (108)	44.4	<u>30.6</u>	<u>29.6</u>	23.1	17.6	23.1	16.7	13.9	12.0	16.7	12.0	7.4	1.9	20.4	13.9
	以前と変わらず弱い	100.0 (1,332)	32.2	6.9	6.2	5.9	3.8	4.3	3.8	2.3	3.1	2.9	2.7	2.3	1.2	47.1	10.6
	以前と変わらず強い	100.0 (675)	40.3	18.1	20.0	13.9	8.4	11.4	9.0	4.7	5.2	6.4	4.3	2.8	1.2	33.5	11.6
	その他	100.0 (155)	20.6	5.8	2.6	3.9	1.3	1.3	3.2	3.2	1.3	2.6	2.6	1.3	3.9	55.5	14.8
変わらない	100.0 (132)	40.2	10.6	9.1	11.4	8.3	5.3	6.8	6.1	3.8	6.1	4.5	1.5	3.8	35.6	9.8	

2 活動を始めたきっかけ〔複数回答〕

「友人・仲間の誘い」の割合が最も高く、4割

この1年間に趣味やスポーツ、地域活動などを行った人(2,037人)に、活動を始めたきっかけを聞いたところ、「友人・仲間の誘い」の割合が39.4%で最も高く、次いで「もともと、興味や問題意識を持っていた」が38.2%となっている。(図8-5)

図8-5 活動を始めたきっかけ〔複数回答〕



3 活動に参加しやすくなる条件

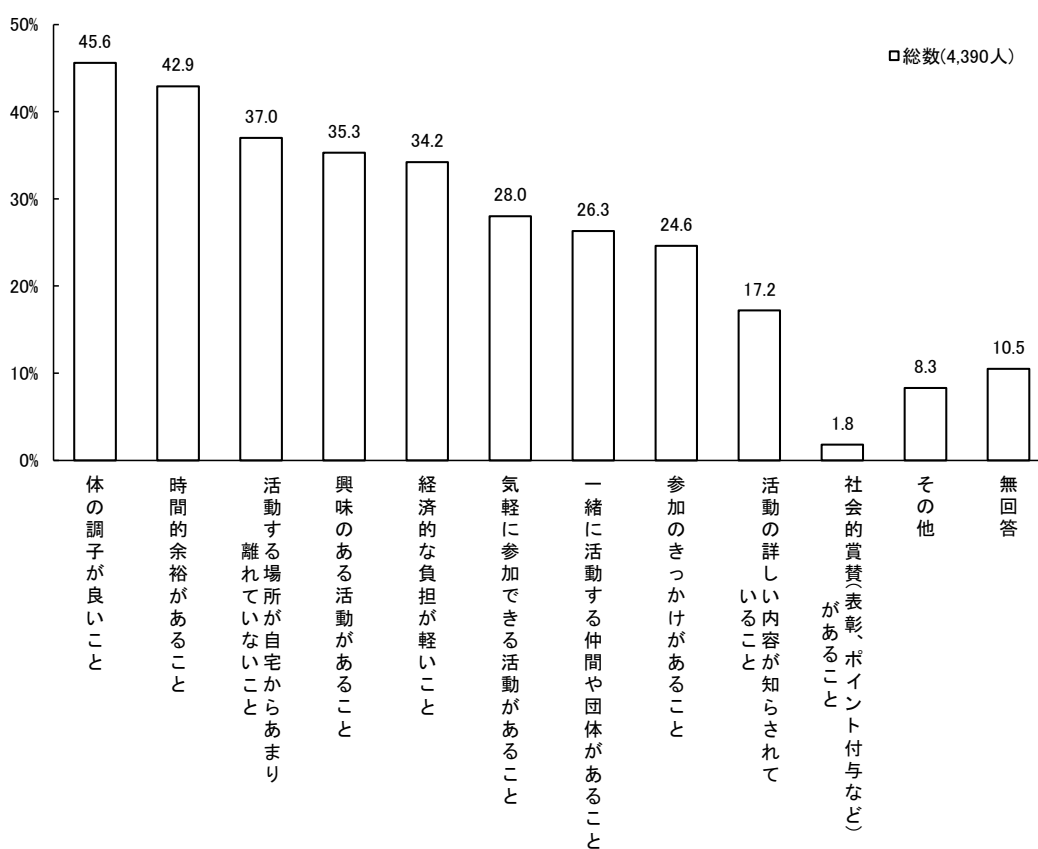
対象者全員に、趣味やスポーツ、地域活動などに参加しやすくなると思える条件を聞いた。

※現在、既に活動している方は、他の人がより参加しやすくなると思える条件を回答。

「体の調子が良いこと」の割合が最も高く、4割超

「体の調子が良いこと」の割合が45.6%で最も高く、次いで「時間的余裕があること」が42.9%、「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」が37.0%となっている。(図8-6)

図8-6 活動に参加しやすくなる条件〔複数回答〕



(1) 活動に参加しやすくなる条件〔複数回答〕一性・年齢階級、介護の状況別

男女ともに「時間的余裕があること」、「体の調子が良いこと」の割合が高い

活動に参加しやすくなる条件を性別で見ると、男性は、「時間的余裕があること」の割合が43.9%で最も高く、次いで「体の調子が良いこと」43.3%、「興味のある活動があること」36.6%となっている。女性は、「体の調子が良いこと」の割合が47.4%で最も高く、次いで「時間的余裕があること」42.1%、「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」40.4%となっている。

年齢階級別にみると、65～74歳までの年齢階級では、「時間的余裕があること」の割合が最も高い(56.7%、47.1%)が、75歳以上の年齢階級では、「体の調子が良いこと」の割合が、最も高くなっている(36.5～47.9%)。

また、介護の状況別にみると、介護をしている人は、「時間的余裕があること」の割合が57.0%で最も高くなっている。(表8-7)

表8-7 活動に参加しやすくなる条件〔複数回答〕一性・年齢階級、介護の状況別

	総数	経済的な負担が軽いこと	時間的余裕があること	一緒に活動する仲間や団体がいること	活動する場所が自宅からあまり離れていないこと	活動の詳しい内容が知らされていないこと	参加のきっかけがあること	体の調子が良いこと	興味のある活動があること	気軽に参加できる活動があること	社会的賞賛(表彰、ポイントなど)があること	その他	無回答	
総数	100.0 (4,390)	34.2	42.9	26.3	37.0	17.2	24.6	45.6	35.3	28.0	1.8	8.3	10.5	
性別	男	100.0 (1,949)	33.5	<u>43.9</u>	25.8	32.8	17.1	26.0	<u>43.3</u>	<u>36.6</u>	28.3	1.8	9.1	10.5
	女	100.0 (2,441)	34.8	<u>42.1</u>	26.8	<u>40.4</u>	17.2	23.4	<u>47.4</u>	34.2	27.7	1.8	7.7	10.5
年齢階級別	65～69歳	100.0 (1,258)	41.9	<u>56.7</u>	28.9	44.0	21.9	28.7	46.8	43.7	34.7	2.1	5.1	6.3
	70～74歳	100.0 (1,099)	37.4	<u>47.1</u>	28.3	40.4	19.2	28.7	46.0	39.2	33.3	1.6	8.6	7.2
	75～79歳	100.0 (932)	32.9	39.8	28.4	36.5	15.6	22.4	<u>46.1</u>	33.7	25.9	2.4	8.7	8.8
	80～84歳	100.0 (655)	27.3	29.8	21.7	29.0	12.8	19.4	<u>47.9</u>	26.3	18.3	1.2	9.9	15.0
	85歳以上	100.0 (446)	17.5	19.3	16.4	22.0	8.7	14.8	<u>36.5</u>	18.4	14.6	0.9	13.5	27.6
状況別の	介護をしている	100.0 (474)	39.9	<u>57.0</u>	27.2	42.4	18.6	27.2	46.4	40.1	34.0	1.5	4.2	5.7
	介護をしていない	100.0 (3,802)	33.6	41.5	26.4	36.6	17.0	24.3	45.9	34.6	27.4	1.8	8.9	10.4

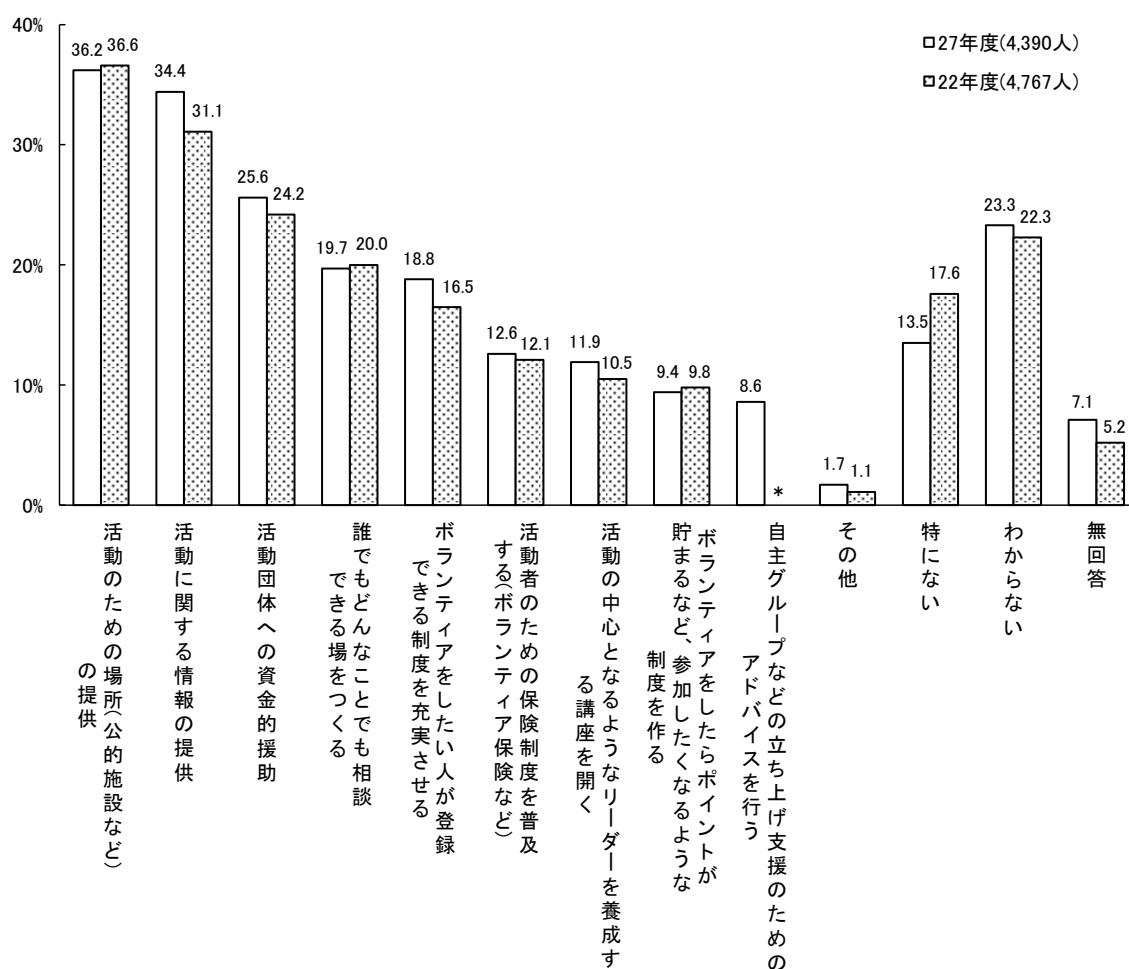
4 高齢者のボランティア活動などに必要な行政の支援〔複数回答〕

対象者全員に、高齢者が行うボランティア活動・地域活動・NPO 活動をより盛んにするために必要な行政の支援について聞いた。

「活動のための場所（公的施設など）の提供」の割合が最も高く、3割超

「活動のための場所（公的施設など）の提供」の割合が36.2%で最も高く、次いで「活動に関する情報の提供」が34.4%、「活動団体への資金的援助」が25.6%となっている。（図8-7）

図8-7 高齢者のボランティア活動などに必要な行政の支援〔複数回答〕



注）* 「自主グループなどの立ち上げ支援のためのアドバイスを行う」は22年度調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの。